

平成24年度版

秋田市環境基本計画年次報告書（23年度の状況）

秋 田 市

本報告書は、秋田市環境基本条例（平成11年秋田市条例第15号）第10条の規定に基づき、本市の環境の状況、市が講じた環境施策の実施状況等を明らかにするため、作成したものです。

平成24年11月
秋田市環境部環境総務課

目次

環境基本計画数値目標の達成状況	1
-----------------	---

主な取組の状況（平成23年度）

第1章	清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかな暮らしを守ります	
第1節	大気環境	7
第2節	水環境	9
第3節	生活環境	10
第2章	多様な自然をとうとび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます	
第1節	自然環境	12
第2節	身近な自然	13
第3節	自然の公益的機能	15
第4節	歴史的・文化的環境	19
第3章	知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします	
第1節	廃棄物	23
第2節	エネルギー・水資源	26
第4章	世代や地域を越えてともに語らい、環（わ）となって取り組みます	
第1節	環境保全活動	29
第2節	環境配慮対策	31
第5章	一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します	
第1節	環境教育・環境学習	33
第2節	地球環境問題	38
別添資料		42

環境基本計画数値目標の達成状況

※評価

- ◎ 【目標達成】目標を達成、維持している。
- ↑ 【目標未達】前年度比で数値が改善した。
- 【目標未達】前年度比で数値が横ばいである。
- ↓ 【目標未達】前年度比で数値が悪化した。

第1章 清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかな暮らしを守ります

第1節 大気環境

環境指標	目標値	目標年度	実績値	評価(※)	課所室
① 大気汚染	二酸化窒素 環境基準の維持達成 (1日平均値の年間98%値が0.06ppm以下)	27年度	平成22年度の1日平均値の年間98%値 0.008ppm 平成23年度の1日平均値の年間98%値 0.008ppm	◎	環境保全課
	浮遊粒子状物質 環境基準の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が0.10mg/m3以下)	27年度	平成22年度の年平均値 0.016mg/m3 平成23年度の年平均値 0.016mg/m3	◎	環境保全課
	光化学オキシダント 環境基準の達成 (1時間値が0.06ppm以下)	27年度	平成22年度の最高値は0.094ppm、年平均値は0.035ppm 平成23年度の最高値は0.092ppm、年平均値は0.036ppm	→	環境保全課
	二酸化いおう 環境基準の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が0.04ppm以下)	27年度	平成22年度の1日平均値の年間98%値 0.002ppm 平成23年度の1日平均値の年間98%値 0.002ppm	◎	環境保全課
	ベンゼン 環境基準の維持達成 (1年間平均値が0.003mg/m3以下)	27年度	平成22年度の年平均値 0.00089mg/m3 平成23年度の年平均値 0.00066mg/m3	◎	環境保全課
	トリクロロエチレン 環境基準の10分の1の値の維持達成 (1年間平均値が0.02mg/m3以下)	27年度	平成22年度の年平均値 0.000038mg/m3 平成23年度の年平均値 0.000033mg/m3	◎	環境保全課

① 大気汚染	テトラクロロエチレン	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1年間平均値が0.02mg/m3以下)	27年度	平成22年度の年平均値 0.000029mg/m3 平成23年度の年平均値 0.000042mg/m3	◎	環境保全課
	ダイオキシン類	環境基準の維持達成 (年間平均値が0.6pg-TEQ/m3以下)	27年度	平成22年度の年平均値 0.01pg-TEQ/m3 平成23年度の年平均値 0.0078pg-TEQ/m3	◎	環境保全課
	二酸化窒素 (自動車排ガス)	環境基準の維持達成 (1日平均値の年間98%値が0.06ppm以下)	27年度	平成22年度の年平均値 0.021ppm 平成23年度の年平均値 0.016ppm	◎	環境保全課
	一酸化炭素 (自動車排ガス)	環境基準の10分の1の値の維持達成 (1日平均値の年間2%除外値が1ppm以下)	27年度	平成22年度の年平均値 0.4ppm 平成23年度の年平均値 0.2ppm	◎	環境保全課
② 稲わら等燃焼の苦情件数	平成17年度=30件 → 平成27年度=件数半減	27年度	平成22年度の苦情件数 19件 平成23年度の苦情件数 32件	↓	環境保全課	

第2節 水環境

① 水質汚濁	環境基準健康項目	環境基準の達成 (カドミウム等26項目)	27年度	市内16河川25地点で調査を行った結果、全ての地点で環境基準を達成していた。	◎	環境保全課
	環境基準生活環境項目	環境基準の達成 (pH等7項目、市内河川のBODを除く。)	27年度	市内22河川34地点で調査。大腸菌群数を除く全ての項目で環境基準を達成していた。	→	環境保全課
	市内河川のBOD	環境基準からさらに引き下げて設定	27年度	市内22河川29地点のうち、全地点において環境基準を達成していた。	◎	環境保全課
	ダイオキシン類	環境基準の維持達成 (1pg-TEQ 以下)	27年度	公共水域の水質に係るダイオキシン類の調査を河川2地点、海域1地点で行った。全ての地点で環境基準を していた。 河川 最低値 0.42pg-TEQ/L 最高値 0.45pg-TEQ/L 平均値 0.44pg-TEQ/L 海域 平均値 0.046pg-TEQ/L	◎	環境保全課

②地下水	地下水に関する環境基準の達成	27年度	平成元年度から市域を1kmメッシュで区切り、5年間で一巡する地下水質測定計画を定め、地下水質調査を行っている。平成23年度は、市内20箇所の井戸で調査を行い、全ての井戸で環境基準を達成していた。	◎	環境保全課
③水質汚濁事故	平成17年度=41件 →平成27年度=半減	27年度	平成22年度の事故件数 16件 平成23年度の事故件数 32件	↓	環境保全課

第3節 生活環境

①一般環境騒音	環境基準の維持達成 (平成17年度=100% →平成22年度、平成27年度=100%)	27年度	市内の一般環境における昼間および夜間の騒音調査を市内5地点で行った結果、全ての時間区分で環境基準を達成していた。 一般環境騒音調査 5地点24時間連続 環境基準適合率:昼100% 夜100%	◎	環境保全課
②道路交通振動	要請限度以下のレベルを維持達成 (平成17年度=100% →平成22年度、平成27年度=100%)	27年度	市内の主要幹線道路沿いの10地点で昼間および夜間の交通振動調査を行った結果、全調査地点、全時間帯で要請限度を下回っており、人体に感じないレベルであった。	◎	環境保全課
③悪臭	悪臭苦情件数の低減 (平成17年度=19件 →平成22年度、平成27年度=件数半減)	27年度	平成22年度の悪臭苦情件数 9件 平成23年度の悪臭苦情件数 26件	↓	環境保全課
④土壌の重金属	環境基準の維持達成 (平成17年度=100% →平成22年度、平成27年度=100%)	27年度	該当事業なし	—	環境保全課

⑤土壌のダイオキシン類	環境基準の維持達成 (平成17年度=100% →平成22年度、平成27年度=100%)	27年度	土壌に係るダイオキシン類の調査を市内の公共用地を中心とした一般環境3地点、発生源周辺3地点で行った。 全ての地点で環境基準を達成していた。 一般環境 最低値 0.028pg-TEQ/g 最高値 0.76pg-TEQ/g 平均値 0.29pg-TEQ/g 発生源周辺 最低値 0.23pg-TEQ/g 最高値 4.9pg-TEQ/g 平均値 2.4pg-TEQ/g	◎	環境保全課
-------------	---	------	--	---	-------

第2章 多様な自然をとうとび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます

第2節 身近な自然

市街化区域内における幹線市道の街路樹整備率	平成17年度=ほぼ100% →平成27年度=100%	27年度	ほぼ100%	◎	道路維持課
-----------------------	-------------------------------	------	--------	---	-------

第3節 自然の公益的機能

①市面積に占める森林面積の割合	平成17年度=68.3% →平成22年度=68.0%以上 →平成27年(2015年)度=67.8%以上	27年度	68.20%	◎	農林総務課
②市面積に占める農用地面積の割合	平成17年度=10.67% →平成22年度=10.66%以上 →平成27年度=10.65%以上	27年度	10.65%	→	農林総務課

第3章 知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします

第1節 廃棄物

①市民一人あたりの家庭系ごみの排出量 (資源化物を除く。)	平成11年度=618g/人・日 →平成24年度=10%以上削減、556g/人・日以下	24年度	584g/人・日	↑	環境都市推進課
②事業系ごみの排出量 (資源化物を除く一般廃棄物)	平成11年度=49,138t/年 →平成24年度=15%以上削減、41,767t/年	24年度	43,333t/年	→	環境都市推進課
③一般廃棄物のリサイクル率	平成11年度=23.6% →平成27年度=38%以上	27年度	31.3%	→	環境都市推進課
④最終処分場への埋立量	平成11年度=20,798t →平成27年度=90%以上削減	27年度	3,390t	→	環境都市推進課

第2節 エネルギー・水資源

①市民一人あたりの家庭系の電力使用量 (電灯需要)	平成16年度=1,977kW/年・人 →平成27年度=同レベル	27年度	2,301kW/年・人	↓	環境総務課
②市内での都市ガス使用総量	平成16年度=42,020千m3 →平成27年(2015年)度=同レベル	27年度	H22年実績:41,922千m3	◎	環境総務課
③水道施設の整備 (有効率の向上)	平成17年度=93.4% →平成27年度=95%以上	27年度	91.4%	↓	上下水道局 総務課

第4章 世代や地域を越えてともに語らい、環(わ)となって取り組みます

第1節 環境保全活動

市で認定した地域環境活動を行っている地域の団体	平成17年度＝7団体 → 平成22年度＝10団体 → 平成27年度＝15団体	27年度	平成22年度末で事業を廃止した。	—	環境都市推進課
-------------------------	--	------	------------------	---	---------

第5章 一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します

第1節 環境教育・環境学習

こどもエコクラブの登録認定数	平成17年度＝40クラブ、987名 → 平成22年度＝40クラブ、1,000名以上 → 平成27年度＝40クラブ、1,000名以上	27年度	26クラブ 2,167人	◎	環境総務課
----------------	---	------	--------------	---	-------

第2節 地球環境問題

秋田市役所の温室効果ガスの排出量	平成17年度＝135,075t-CO2 → 平成22年度＝同レベル → 平成27年度＝同レベル	27年度	126,984t-CO2	◎	環境総務課
------------------	---	------	--------------	---	-------

主な取組の状況(平成23年度)

第1章 清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかなくらしを守ります

第1節 大気環境

(1) 大気環境の監視体制の整備等

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①大気・水質等環境保全事業	・市内9カ所の一般環境大気測定局で大気汚染物質の常時監視を行った結果、光化学オキシダント、浮遊粒子状物質および炭化水素を除く3項目(二酸化いおう、二酸化窒素、一酸化炭素、)で、大気環境基準または指針値を達成していた。 ・測定機器の更新を行った。(茨島および新屋局の風向風速計2台)	環境保全課
②ダイオキシン類等対策事業	・大気2箇所(年4回)、河川の水質と底質2箇所、海域の水質と底質1箇所、地下水1箇所、土壌6箇所調査を行った。いずれも環境基準を達成していた。 ・ダイオキシン類対策特別措置法に係る特定施設を設置している3工場・事業所を立入検査し、ダイオキシン類の測定を行った結果、すべての工場・事業所で排出基準に適合していた。	環境保全課

(2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	23年度の取組実績	担当課所室															
①大気・水質等環境保全事業	<p>・公害関係法令等に基づき届出の審査、立入検査および指導を行い、規制基準の遵守を徹底させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法対象施設の立入調査 5工場・事業場 ・特定粉じんの立入調査 13工場・事業場 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>公害関係法令等に基づく届出</th> <th>大気汚染防止法</th> <th>県公害防止条例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定粉じん排出等作業実施届出</td> <td>13件</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ばい煙発生施設の設置届出</td> <td>14件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>ばい煙発生施設の廃止届出</td> <td>12件</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>氏名変更等届出</td> <td>23件</td> <td>10件</td> </tr> </tbody> </table>	公害関係法令等に基づく届出	大気汚染防止法	県公害防止条例	特定粉じん排出等作業実施届出	13件	—	ばい煙発生施設の設置届出	14件	8件	ばい煙発生施設の廃止届出	12件	8件	氏名変更等届出	23件	10件	環境保全課
公害関係法令等に基づく届出	大気汚染防止法	県公害防止条例															
特定粉じん排出等作業実施届出	13件	—															
ばい煙発生施設の設置届出	14件	8件															
ばい煙発生施設の廃止届出	12件	8件															
氏名変更等届出	23件	10件															
②公害防止協定の締結と運用	<p>公害防止協定に基づき施設の設置、規模の変更等について協議、確認のうえ、それぞれの計画 について了承した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北電力株式会社秋田火力発電所の公害防止に関する協定書に基づく協議 ・ガスタービン発電設備に係る環境保全に関する覚書について(災害復旧事業) ・秋田住友ベーク株式会社の公害防止に関する協定書に基づく協議 ・電池負極用炭素材生産に伴うプラント設備の新設(増設)について 	環境保全課															

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
③稲わら等の焼却防止	・市、農協の広報紙やマスコミ機関を活用して「稲わら・もみ殻焼き防止」の啓発を実施し、防止対策に努めた。 ・重点地区を定め、期間中は常時巡回パトロールを行い、市民から苦情がある場合は、現地を確認し、稲わら・もみ殻焼きの中止指導を行った。(苦情受付32件)	環境保全課

(3) 自動車排ガス対策の充実等

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①低公害車導入・普及	市民・事業者等に率先して、公用車への低公害車導入を推進した。 ※別添資料→42ページ	環境総務課
②自転車等駐車場の整備	特記事項なし	交通政策課
③道路改良事業	20路線、延長2,912mの道路改良工事を実施した。	道路建設課
④交差点改良事業	実績なし	道路建設課
⑤幹線道路整備事業・街路事業	・幹線道路整備事業 割山南浜線(茨島工区) L= 620m W=16m:道路改良工事 ・街路事業 外旭川新川線(八橋工区) L=1,025m W=16m:道路新設工事 外旭川新川線(寺内工区) L=683m W=18m:用地・路線測量、建物調査 泉外旭川線 L=600m W=28-35m:用地補償、建物調査 千秋久保田町線 L=120m W=18m:用地補償、建物調査	道路建設課
⑥交通安全施設等整備事業	道路反射鏡39基、道路照明灯19基、道路区画線198km、防護柵153mおよび歩道1,565mを整備した。	道路維持課
⑦道路緑化整備事業	街路樹の維持管理として、泉ハイタウン5号線ほか73路線、延べ49,180㎡の植樹帯等の除草、明田山崎線ほか67路線、1,827本の高木剪定および新都市大通線ほか24路線のツツジ等の冬囲いを実施するとともに、街路樹欠損木の補植23本、通行の安全確保のため、街路樹根上がり補修を19箇所実施した。	道路維持課
⑧エコドライブの推進	エコドライブアドバイザー講習会を開催した。 ・5月28日 参加者17名(秋田県警察運転免許センター) エコドライブ講習会を開催した。 ・10月1日 参加者29名(秋田県警察運転免許センター)	環境総務課
⑨地方バス路線維持対策事業	生活バス路線を確保するため、運行維持が困難な赤字バス路線への補助を行った。 ・バス事業者:秋田中央交通株式会社 ・補助系統数:61系統 ・補助額:61,105千円(一般財源:41,579千円、県補助:19,526千円)	交通政策課
⑩美の国あきたエコ交通キャンペーン	毎月第4金曜日を「エコ交通の日」(ノーマイカーデー)として、ポスター掲示や市内放送により、徒歩や自転車、公共交通機関を利用した通勤への転換を呼びかけた。 ・平成23年10月実績(重点実施月) ノーマイカーデー参加者:298名 早起き時差出勤参加者 :301名 ・広報あきたで、冬期間のマイカー使用の自粛を呼びかけた。	交通政策課

第2節 水環境

(1) 水環境の監視体制の整備等

取組名	23年度の実績	担当課所室
①大気・水質等環境保全事業	人の健康の保護に関する項目については、調査を行なった17河川、29地点すべてにおいて環境基準を達成していた。また、生活環境の保全に関する項目では、調査を行なった22河川、34地点において、大腸菌群数を除く全ての項目で環境基準を達成していた。	環境保全課
②有害化学物質対策事業	公共用水域の水質および底質調査を河川2地点(猿田川、新波川)、海域1地点(秋田港南西2.8km)で実施した結果、すべての地点で環境基準を達成していた。地下水の水質調査を1地点(河辺高岡)で実施した結果、環境基準を達成していた。	環境保全課

(2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	23年度の実績	担当課所室
①大気・水質等環境保全事業	公害関係法令等に基づき届出の審査、立入検査および指導を行い規制基準の遵守を徹底させた。 ・特定施設設置等届出件数 42件 ・立入検査 70特定工場延べ91検体 733項目 排水が基準に不適合だったのは4事業場で、不適合項目の内訳は水素イオン濃度が3件、大腸菌群数が1件であった。	環境保全課
②公害防止協定の締結と運用【再】	【再掲】 公害防止協定に基づき施設の設置、規模の変更等について協議、確認のうえ、それぞれの計画について了承した。 ・東北電力株式会社秋田火力発電所の公害防止に関する協定書に基づく協議 ガスタービン発電設備に係る環境保全に関する覚書について(災害復旧事業) ・秋田住友ベーク株式会社の公害防止に関する協定書に基づく協議 電池負極用炭素材生産に伴うプラント設備の新設(増設)について	環境保全課

(3) 生活排水対策の充実等

取組名	23年度の実績	担当課所室
①浄化槽設置整備事業	下水道事業認可区域外、農業集落排水整備事業区域外および個別排水処理施設整備事業整備区域外における浄化槽の設置促進のため、浄化槽設置者に対し、国・県の補助制度を活用し補助金を交付した。(2基分を補助)	環境保全課
②浄化槽整備推進事業	平成23年度は、浄化槽を9基設置した。	下水道建設課
③農業集落排水事業	昭和58年度から事業を開始し、22地区で供用開始をしている。平成19年度から金足地区において整備を進めており、平成23年度は、管路8,336mを整備した。	下水道建設課
④水洗便所改造資金融資あっせん制度および助成金制度	助成金利用件数 ・融資あっせん: 81件 あっせん金額: 33,305千円 ・助成金交付: 568件 助成金額: 11,680千円	給排水課

取組名	23年度の実績	担当課所室
⑤公共下水道事業	平成23年度末実績 ・汚水面整備 A=42.5ha ・終末処理場能力増強(八橋) ・下水道普及率 90.5% ・処理可能人口:290,479人(住基人口:320,904人)	下水道建設課
⑥流域下水道建設費負担金	秋田市負担分(78.70%) ・補助対象分 126,235千円 ・単 独 分 0千円 ・ 計 126,235千円	上下水道局総務課
⑦上下水道教室の開催	出前上下水道教室 ・開催日:平成23年6月9日(木) ・参加者:川尻小学校4年生 86人 ・内 容:主に水道について、実演とパワーポイントにより授業形式で説明 夏休み親子水めぐりの旅 ・開催日:平成23年7月31日(日) ・参加者:5組10名 ・内 容:仁井田浄水場と水の学習館の見学、八橋下水道終末処理場の見学、漏水探知体験	上下水道局総務課
⑧下水道設見学受け入れ	施設見学者数 10団体 607名 (内訳) ・小学生 6団体 511名 引率 24名 ・大学生 1団体 21名 引率 1名 ・一 般 3団体 50名	下水道施設課
⑨下水道管渠改築事業	千秋北の丸地内ほかで、下水道管渠改築工事を実施 ・下水道管渠改築延長 L=1,182.3m ・工事費:170,047,500円	維持管理課

第3節 生活環境

(1) 生活環境の監視体制の整備等

取組名	23年度の実績	担当課所室
①生活環境保全事業	主要幹線道路沿い17地点および一般環境地域5地点で騒音の調査を実施した。また、主要幹線道路沿い10地点で振動の調査を行った。 (調査結果) ・道路交通騒音調査 すべての時間区分で環境基準を達成したのは13地点、超過したのは4地点であった。なお、全地点で要請限度を下回っていた。 ・一般環境騒音調査 全調査地点、全時間帯で環境基準を達成していた。 ・道路交通振動調査 全調査地点、全時間帯で要請限度を下回っていた。	環境保全課

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
②ダイオキシン類等対策事業【再】	【再掲】 ・大気2箇所(年4回)、河川の水質と底質2箇所、海域の水質と底質1箇所、地下水1箇所、土壌6箇所調査を行った。いずれも環境基準を達成していた。 ・ダイオキシン類対策特別措置法に係る特定施設を設置している3工場・事業所を立入検査し、ダイオキシン類の測定を行った結果、すべての工場・事業所で排出基準に適合していた。	環境保全課
③有害化学物質対策事業	継続的に摂取される場合には人の健康を損なうおそれのある物質で、大気汚染の原因となる有害物質のうち、環境基準の定められている4物質について、市内2地点で汚染状況の調査を行った。ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタンの4物質すべてで、環境基準を達成していた。	環境保全課

(2) 工場・事業場対策の充実等

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①生活環境保全事業	公害関係法令等に基づき届出の審査、立入検査および指導を行い、規制基準の遵守を徹底させた。 ・立入調査 19工場・事業場 ・騒音規制法に基づく届出 12件(設置・廃止・氏名変更等) ・振動規制法に基づく届出 7件(設置・廃止・氏名変更等) ・特定建設作業届出 騒音規制法に基づく届出 12件 振動規制法に基づく届出 8件	環境保全課
②道路工事の環境指導	道路工事に関する許可証や承認証に、騒音、振動等に配慮するよう条件を付している。 ・道路占用許可件数 2,354件 ・自費工事施行承認件数 103件	建設総務課

(3) 生活環境の保全対策の充実等

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①生活環境保全事業	騒音、振動、悪臭に関する苦情相談は合計で23件となっており、内訳は下記のとおりであった。 ・騒音苦情 12件(建物の建築・解体現場での重機による作業音、事業所から発生する作業音) ・振動苦情 6件(騒音苦情と同じく建物の建築・解体現場での重機による振動) ・悪臭苦情 26件(畑等からの堆肥臭や腐敗臭、生活活動による雑排 臭、事業活動による悪臭等)	環境保全課
②環境配慮指針の普及・啓発	・「秋田市環境配慮指針(日常生活編、事業活動編)」について、ホームページへの掲載等により、その周知を図った。 ・環境配慮に関する情報紙「eー市民だより」を発行(隔月)し、啓発イベントでの配布、公民館やコミュニティセンター等の公共施設への掲示により、意識啓発を図った。	環境総務課
③開発行為の指導・許可	開発許可に際し、開発工事中の環境保全対策等の条件を付した。(平成23年度開発許可実績 7件)	都市計画課

第2章 多様な自然をととび、身近な緑に親しみ、豊かな心をはぐくみます

第1節 自然環境

(1) 多様で貴重な自然の保全

取組名	23年度の実績	担当課所室
①自然環境現況調査	<p>秋田市自然環境保全条例第3条に基づき、本市の環境保全行政の基礎資料とすることを主な目的として、秋田自然史研究会の協力のもと、旧市内の自然環境に関するモニタリング調査および補完調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査 平成16年度に実施した旧市内自然環境調査をもとに、自然環境の経年変化を把握し、今後の自然環境保全行政の基礎資料とすることを目的として、止水域(溜池)に生息する水生生物調査を行った。 【調査期間】平成23年12月 【確認種】 底生動物 46種(うち重要種7種) 魚類 14種(うち重要種6種) 両生類 3種(うち重要種1種) 爬虫類 1種 水生植物 15種(うち重要種6種) ・補完調査 平成16年度に実施した旧市内自然環境調査を補完することを目的として、太平川流域の鳥類について調査を行った。 【調査期間】平成23年12月～1月 【確認種】42種(うち重要種3種) 	環境総務課
②緑のまちづくり活動支援基金による支援事業	<p>身近な緑と花いっぱい活動部門(ソフト部門) 花壇の花植、シンボルとなる植樹などまちなかの身近の緑や花を増やす活動に助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花苗、生垣のための支援コース(上限額2万円) 助成実績:139団体、2個人 ・花と緑いっぱい活動支援コース(上限額5万円) 助成実績:9団体 ・保存樹支援コース 助成実績:0件 ・助成額計 2,513千円 <p>みんなでつくる身近な緑の拠点部門(ハード部門) まちなかの生垣、花壇づくり、身近な広場や住宅地のオープンガーデン等、地域に公開された緑や広場、散策路づくりの活動を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に安全と潤いを提供する緑の拠点作りコース(上限額10万円) 助成実績:0個人 ・地域に身近な緑の拠点づくりコース(上限額500万円) 助成実績:3件 ・助成額計 1,673千円 <p>なお、自然緑地整備事業は、「緑のまちづくり活動支援基金」による支援事業に移行したため、平成20年度から廃止した。</p>	公園課
③特別天然記念物カモシカ食害対策事業	農業被害に対して防護網3,850m、忌避臭袋130セットを支給した。また、林業被害に対して忌避剤を0.68haに塗布した。	文化振興室

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
④命のつなぎ(種の保存)事業	<ul style="list-style-type: none"> ・動物園内の沼、塩曳潟(しおひきがた)に生息する絶滅危惧種ゼニタナゴについて、秋田淡水魚研究会の協力により、沼の生息状況調査などを計3回実施したほか、ゼニタナゴの保全のために作製した池の中で、約300尾の稚魚を孵化させ、元の沼に放流した。 ・また、同じ保全池の中でゼニタナゴが卵を産む貝の繁殖にも成功し、約250個の稚貝を確認した。さらに、天敵のアメリカザリガニの駆除のために、地元企業の家族や地域の小学生の協力のもと、ゼニタナゴ保全イベントとしてザリガニ釣り大会を実施するなど、年間を通じて約1000尾を駆除した。 	大森山動物園

(2) 自然とふれあいの場の創出

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①グリーン・ツーリズム推進対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年8月20日(土) まるごとJANGOでごん(大根)獲得ツアー 大根の種蒔きと農家の生活体験:参加者10名 ・平成23年10月2日(日) 「田んぼのすまこ」稲刈り、はさ掛け作業 稲刈り、はさ掛け作業体験:参加者8名 ・平成23年10月16日(日) 「田んぼのすまこ」脱穀、粃すり作業 脱穀、粃すり作業体験:参加者8名 ・平成23年10月30日(日) まるごとJANGO体験ツアー(大根)獲得ツアー第2弾 大根の収穫と農家の生活体験:参加者16名 	農業農村振興課
②太平山リゾート公園整備事業	平成20年度で太平山リゾート公園整備事業を完了した。	公園課
③太平山自然学習センター運営事業	小中学生の宿泊研修や自然体験活動等の主催事業を実施した。 ※別添資料→43ページ	太平山自然学習センター

第2節 身近な自然

(1) まちの中の緑の保全と創出

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①道路緑化整備事業 【再】	【再掲】 街路樹の維持管理として、泉ハイタウン5号線ほか73路線、延べ49,180㎡の植樹帯等の除草、明田山崎線ほか67路線、1,827本の高木剪定および新都市大通線ほか24路線のツツジ等の冬囲いを実施するとともに、街路樹欠損木の補植23本、通行の安全確保のため、街路樹根上がり補修を19箇所実施した。	道路維持課
②都市景観形成事業	景観計画区域内における行為の届出(大規模行為)届出総件数102件に対し、審査および指導を行い、その全てに対し景観形成基準に適合する旨の判断をしている。	都市計画課
③都市公園整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・外堀ポケットパークの整備を行った。 ・市民交流ゾーン、堀水質浄化およびさくら再生に係わる実施設計業務委託を行った。進捗率(事業費ベース)75.4% 	公園課
④緑化重点地区整備事業	新屋駅周辺地区内の2公園を整備した。進捗率(事業費ベース)98.1%	公園課

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
⑤緑のまちづくり活動支援基金による支援事業 【再】	<p>【再掲】</p> <p>身近な緑と花いっぱい活動部門(ソフト部門) 花壇の花植、シンボルとなる植樹などまちなかの身近の緑や花を増やす活動に助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花苗、生垣のための支援コース(上限額2万円) 助成実績:139団体、2個人 ・花と緑いっぱい活動支援コース(上限額5万円) 助成実績:9団体 ・保存樹支援コース 助成実績:0件 ・助成額計 2,513千円 <p>みんなで作る身近な緑の拠点部門(ハード部門) まちなかの生垣、花壇づくり、身近な広場や住宅地のオープンガーデン等、地域に公開された緑や広場、散策路づくりの活動を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に安全と潤いを提供する緑の拠点作りコース(上限額10万円) 助成実績:0個人 ・地域に身近な緑の拠点づくりコース(上限額500万円) 助成実績:3件 ・助成額計 1,673千円 <p>なお、花のあるまちづくり事業および緑化普及事業は、「緑のまちづくり活動支援基金」による支援事業に移行したため、平成21年度から廃止した。</p>	公園課
⑥保存樹管理事業	<p>所有者の理解と協力を得ながら保存樹の保全に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理状況 剪定、枯枝・枯木処理:1箇所 ・維持管理委託 保存樹診断事務委託:5本(3箇所) 	公園課

(2) 親しみやすい水辺の保全と創出

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①内水面資源維持対策事業	<p>事業主体/魚種/放流数</p> <p>岩見川漁業協同組合(事業実施期間6.10~7.17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア ユ(6/10、12) 150,000尾 ヤマメ(6/12、19、7/2) 135,000尾 イワナ(7/17) 20,000尾 <p>仙北西部漁業協同組合(事業実施期間6.8~10.19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア ユ(6/8) 30,000尾 ヤマメ(7/12) 5,000尾 イワナ(7/12) 5,000尾 コ イ(10/19) 8,000尾 <p>市</p> <ul style="list-style-type: none"> サ ケ(4/16) 30,000尾 ア ユ(6/5) 1,000尾 ヤマメ(6/10) 2,000尾 	農業農村振興課

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
②河川改修事業〔普通河川古川〕	普通河川古川の牛島工区において、築堤護岸工延長34mが完了し、また、地質調査業務委託、設計業務委託、建物等調査(事後)業務委託などを実施した。	道路建設課
③河川環境整備事業〔準用河川宝川など〕	準用河川宝川・白熊川・船沢川および普通河川古川・境川について、土砂堆積による河道閉塞部の浚渫や護岸補修など、合計455mを実施した。	道路建設課
④橋りょう整備	本田橋において、橋台2基および橋脚3基の工事を実施した。	道路建設課

(3) 雪と向き合うまちづくりの実践

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①除排雪対策事業	道路の除排雪に備えるため、平成23年11月15日から翌年の3月31日までの期間に「秋田市道路除排雪対策本部」を建設部道路維持課内に設置し、円滑な道路交通の確保に努めた。	道路維持課
②雪みち計画(歩道無散水消融雪施設の設置)	秋田環状1号線ほか1路線の歩道消融雪設備工事L=637.8mを整備した。また、仲小路2号線ほか1路線については、関連工事に不測の日数を要したことから、年度内の工事完成が困難となった。	道路維持課
③冬みち安全安心対策除雪強化事業	耐用年数を超え老朽化した凍結抑制剤散布車1台の払い下げ要望を秋田県に提出し、該当となったことから、払い下げを受けた。	道路維持課
④市民向け除排雪支援制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小型除雪機械を12町内に貸し出し、地域の除排雪作業を支援した。 ・ダンプトラックまたは積込機械を8町内に貸し出し、地域の除排雪作業を支援した。 	道路維持課
⑤公共交通の確保	<p>地方バス路線維持対策事業 生活バス路線の維持のため、運行維持が困難な赤字バス路線への補助を行った。</p> <p>バス交通総合改善事業 郊外部における不採算バス路線の廃止代替交通を運行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田市マイタウン・バス西部線、北部線、南部線、東部線の運行を継続 ・秋田市マイタウン・バス笹岡線の運行を開始(平成23年4月) 	交通政策課

第3節 自然の公益的機能

(1) 森林の公益的機能の保全と活用

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①地域防災計画策定事業	地域防災計画の本編、資料編および防災カルテを市ホームページ等で公開し、周知に努めた。	防災安全対策課
②民有林振興対策事業	民有林の保育作業等に対する支援のため、「民有林振興対策事業」として森林施業に必要な地域活動に対して6地区の地域活動3,948.35haに対し交付金を交付したほか、民有林41箇所146.48haに対し間伐経費の一部を助成し、一層の間伐促進を図った。	農地森林整備課
③市有林経営	「市有林経営」として施業計画に基づき、除伐16.20ha、枝打16.20ha、間伐175.64haの保育事業を実施し、森林資源の質的向上を図った。	農地森林整備課

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
④県単局所防災事業	<p>山地災害を防止するため、下記の地区において「県単局所防災事業」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雄和平尾鳥字細田地内 法粋工 A=162㎡ ・上新城小又字落合地内 法粋工 A=226㎡ ・雄和椿川字中村地内 かご土留め工 L=40m ・雄和碓田字梵天野地内 法粋工 A=137㎡ 	農地森林整備課
⑤森林病害虫等防除事業	<p>森林資源としての松林を保全し、市民の生活環境を保全するため、「森林病害虫等防除事業」として市内全域にわたり、松くい虫被害木の伐採処理を1,397㎡(1,921本)実施したほか、松くい虫被害拡大防止策として、地上薬剤散布を4.99ha、樹幹注入として対象木94本に450本の薬剤の注入作業を実施した。</p>	農地森林整備課
⑥ヤマビル被害防止総合対策事業	<p>森林および住宅周辺の生活環境保全のため、「ヤマビル被害防止総合対策事業」として、ヤマビルの生息地区の5町内に対し、駆除用の薬剤を交付した。</p>	農地森林整備課
⑦林道改良事業・林道舗装事業	<p>林道等の林業生産基盤の整備として、雄和相川地区にある林道「小杉前線」の用地買収と改良工事 L=894m W=4.0mを実施した。</p>	農地森林整備課
⑧里地里山活用事業	<p>平成22年度で事業終了</p>	農地森林整備課
⑨市民の森造成事業	<p>平成19年度で「市民の森造成事業」が完了したため、浜田森林総合公園と一体で管理を実施している。</p>	農地森林整備課

(2) 農地の公益的機能の保全と活用

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①地域防災計画策定事業【再】	<p>【再掲】 地域防災計画の本編、資料編および防災カルテを市ホームページ等で公開し、周知に努めた。</p>	防災安全対策課
②スーパー農園整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・橋台スーパー農園 平成23年4月16日(土) 農園使用開始 平成23年8月11日(木) 栽培講習会および農園一斉清掃 平成23年10月23日(日) スーパー農園農産物展示会 ・仁井田スーパー農園 平成23年4月16日(土) 農園使用開始 平成23年7月28日(木) 菜の花栽培開始 平成23年10月23日(日) スーパー農園農産物展示会 	農業農村振興課
③グリーン・ツーリズム推進対策事業【再】	<p>【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年8月20日(土) まるごとJANGOでござん(大根)獲得ツアー 大根の種蒔きと農家の生活体験:参加者10名 ・平成23年10月2日(日) 「田んぼのすまこ」稲刈り、はさ掛け作業 稲刈り、はさ掛け作業体験:参加者8名 ・平成23年10月16日(日) 「田んぼのすまこ」脱穀、粃すり作業 脱穀、粃すり作業体験:参加者8名 ・平成23年10月30日(日) まるごとJANGO体験ツアー(大根)獲得ツアー第2弾 大根の収穫と農家の生活体験:参加者16名 	農業農村振興課

取組名	23年度 of 取組実績	担当課所室
④中山間地域等振興対策事業	協定締結集落3地区に交付金を交付した。 ・金足浦山 150,124円(A= 23,457㎡) ・雄和碓田 491,609円(A= 76,814㎡) ・雄和萱ヶ沢 798,636円(A=124,787㎡)	農業農村振興課
⑤農道整備事業・農道舗装事業	農業生産性の向上と生活環境の改善による定住条件の整備を図るため、下記の地区において、農道舗装を実施した。 ・飯島南場掛地区 L= 112m W=2.0m ・金足鳩崎地区 L= 125m W=2.0m ・太平八田地区 L= 125m W=2.0m ・雄和芝野地区 L= 88m W=4.0m ・下新城小友地区 L= 80m W=3.0m	農地森林整備課
⑥市単独土地改良事業補助金	水路・揚水機改修等(豊岩小山地区ほか15地区 水路工 総延長875mほか)	農地森林整備課
⑦県営土地改良施設等整備事業負担金	ほ場整備 ・河辺赤平地区 湧水処理工 A=10.5ha ・雄和銅屋地区 補助暗渠工 A=65.0ha ・雄和左手子地区 補完工 一式 ・雄和平沢地区 調査計画 一式 ため池等整備 ・仁井田堰2期地区 水路工 L=917m ・金足杉沢地区 堤体法面保護工A=1,296㎡ ・雄和釜ヶ沢地区 実施設計 一式 ・雄和芝野地区 ゲート制作 一式 ・河辺寺田地区 調査計画 一式 ・外旭川穴堰地区 調査計画 一式 基幹水利ストックマネジメント ・仁井田地区 水路工 L=1,351m ・仁井田十八堰地区 水路工 L=1,392m	農地森林整備課
⑧かんがい排水事業・かんがい排水事業補助金	農業用用水路やため池、頭首工、揚水機等の農業用施設の整備により、用水の安定的確保、排水不良の解消を図るため、下記の地区において事業を実施した。 ・基盤整備促進事業(農業用排水施設型) 太平野田地区 用水路工 L=53.9m	農地森林整備課
⑨県単局所防災事業【再】	【再掲】 山地災害を防止するため、下記の地区において「県単局所防災事業」を実施した。 ・雄和平尾鳥字細田地内 法枠工 A=162㎡ ・上新城小又字落合地内 法枠工 A=226㎡ ・雄和椿川字中村地内 かご土留め工 L=40m ・雄和碓田字梵天野地内 法枠工 A=137㎡	農地森林整備課

(3) 海の公益的機能の保全と活用

取組名	23年度の実績	担当課所室
①大気・水質等環境保全事業	<p>地先海域と海水浴場の水質調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田市地先海域および秋田港7地点 結果:人の健康の保護に関する項目および生活環境の保全に関する項目(延べ760項目)では、全調査地点で環境基準を達成していた。 ・3海水浴場(下浜、桂浜、浜田)のそれぞれ2地点 結果:開設前、開設中の調査ともに、すべての地点で「水質が良好な水浴場」と判定される水質AA、または水質Aであった。 	環境保全課
②不法投棄対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・林道や側道を中心に5台の移動式監視カメラを設置した。(延べ24箇所に設置) ・委託、職員、不法投棄監視員によるパトロールを実施した。 委託によるパトロール 230日(早朝29日、夜間46日、日中155日) 職員によるパトロール 247日(早朝17日、夜間7日、日中223日) 不法投棄監視員によるパトロール(随時) ・テレビ等不法投棄防止夜間パトロール事業を委託により実施した。(H23/6/30～H24/2/29)(秋田県緊急雇用創出臨時対策基金の活用) ・全国ごみ不法投棄監視ウィークでの、のぼり旗やポスターの掲示や合同パトロールを実施した。 国土交通省秋田河川国道事務所との合同パトロールの実施(6/1) 大仙市との合同パトロールの実施(5/30) 不法投棄監視員との合同パトロールの実施(5/30～6/5) 国、県の関係機関との不法投棄未然防止対策連絡会の開催(6/3) ・不法投棄ゼロモデル地区事業を2地区拡大し実施した。 実施地区(下浜名ヶ沢、雄和女米木、河辺戸島、雄和平尾島、下新城岩城、金足片田) ・広報あきたを活用した啓発を行った。(4/1号から3/16号まで12回掲載) 	廃棄物対策課
③定期フェリー便需要拡大推進	<p>秋田県環日本海交流推進協議会「フェリー利用促進部会」へ部会員として参加 (部会活動内容)</p> <p>部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年4月21日(秋田県議会棟第2会議室) 委員12名出席 <p>利用促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェリーPR活動 秋田航路PR広告の掲載 秋田航路PRイベントの開催 秋田港海の祭典参加 ・利用者に対する情報・サービス提供 秋田航路PR用ランチョンマットの作成 図書寄贈事業 ・需要の掘り起こし 北海道「秋田情報プラザ」との意見交換 鶏糞輸送実験 <p>宣伝活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進事業と一体的に各種媒体を使ってフェリー秋田航路の宣伝を実施 報道機関への投げ込み 協議会ホームページへの掲載 フェリー秋田航路のPRリーフレットの配布 フェリー秋田航路のPRリーフレットの備え付け(県立図書館) 	港湾貿易振興課

第4節 歴史的・文化的環境

(1) 歴史的・文化的遺産の継承と活用

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①都市公園整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・外堀ポケットパークの部整備を行った。 ・市民交流ゾーン、堀水質浄化およびさくら再生に係わる実施設計業務委託を行った。進捗率(事業費ベース)75.4% 	公園課
②地蔵田遺跡環境整備事業	<p>市民ボランティアと協力して史跡の整備を行ったほか、市民参加による体験イベントや学習講座等を行い、郷土学習に活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備 <ul style="list-style-type: none"> 3号竪穴住居屋根差し茅補修 平成23年 5月26日～ 6月 1日 木柵一部更新 平成23年 6月30日～ 7月 2日 1号竪穴住居暗渠排水設置 平成23年 6月13日～ 6月16日 ・体験イベント <ul style="list-style-type: none"> 弥生体験講座(差し茅・火おこし体験) 平成23年 5月29日 弥生体験講座(石斧伐採・木柵復元体験) 平成23年 7月 2日 弥生体験講座(土器づくり体験) 平成23年 7月 9日 弥生体験講座(土器野焼き体験) 平成23年 7月31日 弥生っこ村宿泊体験 平成23年 7月30日～ 7月31日 弥生っこ村まつり 平成23年10月 8日 ・学習講座等 <ul style="list-style-type: none"> ボランティアガイド養成講座(実地研修) 平成23年 4月16日 弥生っこ村学習講座 平成23年 6月18日、11月26日 	文化振興室
③史跡秋田城跡環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡秋田城跡環境整備工事 <ul style="list-style-type: none"> 秋田城跡の中心施設である政庁域と、平成20年度に完成した水洗厠舎を含む鶴ノ木地区および外郭東門地区との一体化を図り、市民の郷土学習の場、憩いの場として提供しながら地域資源として活用するため、平成22年度に引き続き政庁域から収蔵庫までの大路の復元整備を行った。 大路表示 W=13.5m(側溝含む)、L=34.5m ・発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> 第98次調査を実施し、大小路地区中央部において城外南大路周辺の土地利用状況を確認した。調査面積74㎡。 第99次調査を実施し、焼山地区南西部において平成17年度に確認された区画施設についてその範囲と、区画内の利用状況を確認した。調査面積757㎡。 ・活用事業 <ul style="list-style-type: none"> 市民を対象に学習講座、史跡探訪会(史跡内の野鳥観察)、発掘調査現地説明会、秋田城跡パネル展(2回)を開催した。また、秋田城跡から出土した貴重な遺物を紹介するパンフレットを作成、配布した。さらに、小学5・6年生を対象とした発掘体験教室の開催や、地域住民と協同で活用イベントとして東門ふれあいデーを実施したほか、近隣の小学校で出前授業を実施した。 ・土地公有化事業 <ul style="list-style-type: none"> 土地買い上げ予定面積390,221㎡(昭和41年～平成88年)のうち、平成23年度は1,630.39㎡を買い上げ、進捗率が70.78%となった。 	秋田城跡調査事務所
④秋田城跡史跡公園管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡公園・公有化土地草刈り:約20ha(整備地3回、公有地2回) ・危険樹木伐採:17本、整枝2本、松枯れ防除:13本 ・鶴ノ木地区外灯、総合案内板修繕 ・公衆・東門見学者トイレ清掃:2棟(2回/週) 	秋田城跡調査事務所

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
⑤歴史資料館建設事業	第11次秋田市総合計画に基づき、その規模や機能について、建設に向けた具体的検討を行った。	秋田城跡調査事務所
⑥文化財保護活用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の道活用事業として、文化財イラストマップを活用した文化財まちあるきを実施した。 期日:5月14日(土) 参加者数:15名 ・文化財保護強調週間(11月1日～7日)に指定文化財巡りを実施した。 期日:11月7日(月) 参加者数:20名 ・文化財防火デー(1月26日)に防火訓練等を実施した。 期日:1月26日(木) 参加施設・文化財:民俗芸能伝承館、旧金子家住宅、旧松倉家住宅、嵯峨家住宅、旧黒澤家住宅、如斯亭庭園、秋田城跡調査事務所、地藏田遺跡、河辺農林漁業資料館 	文化振興室
⑦赤れんが郷土館、民俗芸能伝承館	<p>赤れんが郷土館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展・常設展の開催 「～市が所管する資料でみる～秋田市なんでもMUSEUM」などの企画展を前期展・後期展を含めて5回開催し、郷土の歴史や民俗、美術工芸などについて紹介した。 勝平記念館で5回、関谷記念室で2回の展示替えを行い、郷土が生んだ先人とその作品について紹介した。 国の重要文化財「旧秋田銀行本店本館(赤れんが館)」の資料と秋田の伝統工芸品を紹介した。 ・教育普及事業 各展覧会や展示資料、郷土についてより理解を深めるための講座を11講座14回開催したほか、赤れんが館コンサートを開催した。 赤れんが館について学習しながら、築100年記念事業としての建物の利活用についてアイデアを募ることを目的に、市民参加型のワークショップを開催した。 ・資料調査収集事業 郷土の歴史文化に関する資料の充実を図り、市民に知識と情報を提供するため、資料の受託を受けた。 <p>民俗芸能伝承館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展の開催 国の重要無形民俗文化財である「秋田の竿燈」をはじめとした郷土の民俗行事・芸能に関する資料や、市の有形文化財である旧金子家住宅を紹介した。 ・教育普及事業 秋田万歳講座などの講座を4講座20回開催したほか、市内の民俗芸能の保存と啓発、伝承を目的に民俗芸能合同発表会を開催した。 ・資料調査事業 来館者の理解を深めるため「民俗芸能・行事解説シート」を作成し、館内に設置した。 	赤れんが郷土館
⑧佐竹史料館	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展(年5回) ・常設展(年3回) ・学習講座(7講座、12日間) ・黒澤家日記解読事業(天保8年資料集(十三)を解読刊行する) ・子供向け事業(7月30日) ・館蔵資料の修復および資料調査収集事業(寄贈2件、寄託2件、購入:三番叟・羽秋家諷宸鑑) 	佐竹史料館

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
⑨千秋美術館	<p>常設展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡田謙三記念館の常設展示を行った。(3回展示替)通年 ・コレクション展「美術館へ花を觀に」を開催した。(4月14日から5月29日まで) ・コレクション展「秋田蘭画を中心に」を開催した。(6月2日から7月3日まで) <p>企画展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「KITTY EX.」展を開催した。(7月15日から8月28日まで) ・「アメリカ現代版画への招待」展を開催した。(9月16日から11月6日まで) ・「カンヴァスに描かれた女性たち」展を開催した。(2月10日から3月25日まで) <p>企画展の関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KITTY EX. 展トーク&サイン会、握手&撮影会を開催した。(7月23日) ・KITTY EX. 展ネイルアート、ボディペイントサービスおよびハローキティのおはなし会を開催した。(7月30日) ・特別講座「タイラーグラフィックスとアメリカ現代版画」を開催した。(9月25日) ・スライドレクチャーを開催した。(10月15日、10月30日) ・特別講座「西洋絵画における女性表現の流れ」を開催した。(2月19日) <p>教育普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ「KITTYと私のコラボレーション」を開催した。(7月31日) ・ワークショップ「デッサン講習会」を開催した。(10月22日、2月11日) ・ワークショップ「関係のなかの関係～コラージュであそぶ～」を開催した。(11月5日) ・ワークショップ「パステルで描く女性像」を開催した。(3月11日) ・館長講座「お姫様の嫁入り道具」を開催した。(6月18日) ・館長講座「楽しい漆芸のはなし 第1回 古代の漆芸」を開催した(2月4日) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図録フェアを開催した。(9月16日から1月31日まで) ・平成23年度秋田市立千秋美術館協議会美術作品等評価審査委員会を開催した。(10月20日) ・平成23年度秋田市立千秋美術館協議会を開催した。(2月16日) 	千秋美術館
⑩歴史的文化的環境を活かした活動の支援	<p>各公民館や市民サービスセンター、図書館等では、各種学級や写真展示・資料展示などで、郷土の歴史や文化を自主的に学び、地元や秋田県内に伝わる郷土芸能伝承活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館等(4公民館、4市民サービスセンター)21件:参加延べ人数1,595人 ・図書館(4館、1分館)14件:参加延べ人数1,020人(講座等、写真展・資料展示) 	生涯学習室
⑪藤倉水源地	特記事項なし	上下水道局総務課
⑫竿燈まつり振興事業	竿燈まつり実行委員会に対して、まつりの実施に係る安全対策および環境衛生対策事業に対する補助支援を行った。	観光物産課
⑬桜・つつじまつり事業	千秋公園の桜、つつじまつり事業に係る環境衛生対策を、(財)秋田観光コンベンション協会に委託したほか、高清水公園・太平川の各桜まつり(観桜会)事業に対して補助した。	観光物産課
⑭桜・つつじまつり事業	東日本大震災の発生により、あらかざくら公園さくらまつり(観桜会)は中止された。	西部市民サービスセンター
⑮土崎まつり支援	土崎港祭り実行委員会に対して開催事業費を補助した。	北部市民サービスセンター

(2) 歴史的・文化的環境を活かした活動の支援

取組名	23年度の実績	担当課所室
①秋田市民交流プラザ市民活動育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー相談件数: 264件 ・サロン来訪団体数: 494団体 ・ヨルカイギ(まちづくり等をテーマに8回開催): 116人参加 ・市民活動支援連続講座(自分の働きをいかすためのワークショップ等2回開催): 42人参加 ・市民活動フェスタ(市民活動団体ブース展示等): 2,500人参加 ・市民活動なんでも講座(情報発信、場づくりをテーマに5回開催): 125人参加 ・もちよりカフェ(お茶を飲みながら情報交換等3回開催): 20人参加 ・親子講座(福祉(バリアフリー)等をテーマに2回開催): 22人参加 	秋田市民交流プラザ管理室
②文化施設等の事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ・千秋美術館 入館者数 25,145人 企画展3回と常設展を開催、ワークショップや講座等の教育普及事業を行った。 ・赤れんが郷土館 入館者数 17,455人 企画展4回と常設展の開催、赤れんが館コンサート等の教育普及事業を行った。 ・民俗芸能伝承館・旧金子家住宅 入館者数 31,157人 施設利用者数 12,736人 常設展示と秋田市民俗芸能合同発表会等の教育普及事業を行った。 ・佐竹史料館・久保田城御隅櫓・旧黒澤家住宅 入館者数 36,607人 企画展5回と常設展の開催、佐竹史料館学習講座等の教育普及事業を行った。 ・河辺農林漁業資料館 入館者数 234人 常設展示と特別コーナー展示を行った。 ・文化会館 入館者数 340,236人 自主事業として秋田子ども邦舞・邦楽公演と劇団四季「こころの劇場」、宝くじ文化公演「吉田正記念オーケストラ 思い出の名曲劇場」等を行った。 	文化振興室
③文化振興基金事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第28回秋田市文化選奨 芸術・学術分野において前年度優れた作品・成果を発表し、本市文化の振興に寄与した個人・団体を表彰した。 受賞者 (音楽)松尾 政子 「松尾政子ソプラノリサイタル」 表彰式 平成23年7月26日 場 所 秋田ビューホテル ・秋田市文化振興助成事業 本市文化の向上に寄与すると認められる市民の自主的な文化活動に対し、事業費の一部を助成した。 文化振興一般助成事業 ampersand[&] project DANCE@SPACE vol.1 Black & White 文化振興ヤングクリエイター助成事業 フレッシュ・ガラ・メンバーズ・ステージ Sing!Sing!Sing! 	文化振興室
④公民館や図書館等の事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> 各公民館や市民サービスセンター、図書館等では、各種学級や写真展示・資料展示などで、郷土の歴史や文化を自主的に学び、地元や秋田県内に伝わる郷土芸能伝承活動に取り組んだ。 ・公民館等(4公民館、4市民サービスセンター)21件:参加延べ人数1,595人 ・図書館(4館、1分館)14件:参加延べ人数1,020人(講座等、写真展・資料展示) 	生涯学習室

第3章 知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします

第1節 廃棄物

(1) 廃棄物等の発生抑制

取組名	23年度の実績	担当課所室
①一般廃棄物処理基本計画の策定・管理	「平成23年度秋田市一般廃棄物処理実施計画」を公表するとともに、同計画に基づく一般廃棄物の適正処理が図られるよう啓発指導を実施した。	環境都市推進課
②家庭系ごみ分別推進事業	・実施回数 60回 ・参加人数 1,981人	環境都市推進課
③家庭系廃棄物減量・再資源化事業	・実施団体 574団体・回収量 3,873t ・奨励金交付 11,582千円(団体9,889千円、業者1,693千円)	環境都市推進課
④事業系廃棄物減量・再資源化事業	指導事業所 116事業所	環境都市推進課
⑤環境貯金箱作戦によるごみ減量啓発	・生ごみ堆肥づくり講座(ダンボール箱編) 期日 7/3 10:00~11:30 会場 環境部庁舎1階車庫 参加人数 計 46人 ・生ごみ堆肥づくり講座(EM菌編) 期日 7/3 13:30~14:30 会場 環境部庁舎1階車庫 参加人数 計 46人 ・生ごみ堆肥づくりDVDの貸し出し ※環境貯金箱作戦は22年度で廃止	環境都市推進課
⑥環境教育・学習事業	特記事項なし	環境総務課
⑦地域環境活動促進事業	平成22年度末で事業を廃止した。	環境都市推進課
⑧総合環境センターの施設見学	溶融施設 ・団体数:123団体 ・参加人数:4,249人 リサイクルプラザ ・団体数:113団体 ・参加人数:4,059人	総合環境センター

(2) 循環資源の再使用・再生利用

取組名	23年度の実績	担当課所室
①家庭系廃棄物減量・再資源化事業【再】	【再掲】 ・実施団体 574団体 ・回収量 3,873t ・奨励金交付 11,582千円(団体9,889千円、業者1,693千円)	環境都市推進課

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
②家庭系ごみ分別推進事業【再】	【再掲】 ・実施回数 60回 ・参加人数 1,981人	環境都市推進課
③事業系廃棄物減量・再資源化事業【再】	【再掲】 ・指導事業所 116事業所	環境都市推進課
④古紙ステーション回収システムの支援	・古紙ステーション回収量 8,226t ・回収支援経費 4,816千円	環境都市推進課
⑤資源化物の適正処理	容器包装リサイクル法に基づく、資源化物の特定事業者への引渡し量 ・びん無色 962,110kg ・びん茶色 892,960kg ・びんその他 593,950kg ・PET 857,390kg 資源化量 ・缶 スチール 575,320kg ・缶 アルミ 554,670kg ・乾電池 -kg	総合環境センター
⑥廃棄物発電の実施	・1、2号溶融炉による発電量 47,826,210kWh ・3号焼却炉による発電量 2,576,190kWh ・平成23年度 売電収入 199,096,546円	総合環境センター
⑦生活用品交換案内	登録受付件数 ・ゆずる 13件 ・ほしい 15件 ・交渉成立 2件	市民相談センター
⑧グリーン購入・グリーン調達の推進	(環境総務課) ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 (契約課) 用品調達基金により購入している事務用品については、できるだけグリーン購入法適合品を導入した。 ※別添資料→P43	環境総務課
⑨各種建設・改築事業	道路工事において、環境負荷の低減を図った。 ・バックホー等の施工機械について、排出ガス対策型とした。 ・コンクリート製品について、秋田県認定リサイクル製品(溶融スラグ入り)を活用した。	駅東工事事務所
⑩各種建設・改築事業	配水管整備事業や施設改良事業等を行った。 ・舗装材(アスファルト)は再生材を使用し、取り壊した舗装(アスファルト・コンクリート)は再生処理するなど環境に配慮したまちづくりを実践した。 主要な建設機械には、排ガス対策型や低騒音型を使用し、生活環境に配慮しながら工事を行った。	水道建設課

(3) 廃棄物の適正処理

取組名	23年度の実績	担当課所室
①一般廃棄物処理基本計画の策定・管理【再】	【再掲】 「平成23年度秋田市一般廃棄物処理実施計画」を公表するとともに、同計画に基づく一般廃棄物の適正処理が図られるよう啓発指導を実施した。	環境都市推進課
②廃棄物処理施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理 溶融施設の処理能力を400t/日(200t/日×2炉)から460t/日(230t/日×2炉)に増強するため、機械設備や電気設備工事を行い、完成させた。事業費:2,391,690,000円 ・し尿処理 し尿処理施設更新事業を平成22年度から着手し、処理施設の新設工事を行い、脱水機等を製作した。事業費:194,436,000円 	環境総務課
③ごみ収集業務の委託化・収集体制の見直し	直営収集車の民間委託化は、平成22年度で当初計画どおり終了した。 平成23年度一般ごみ・民間委託台数 51台	環境都市推進課
④粗大ごみ戸別収集事業	<ul style="list-style-type: none"> ・収集量 569.5 t ・収集件数 20,537 件 ・収集個数 49,946 個 ・証紙売上額 18,976 千円 	環境都市推進課
⑤産業廃棄物処理施設等の監視・指導	立入検査計画に基づき、立入検査を実施した。立入件数 330件(うち文書指導 0件、口頭指導 3件)	廃棄物対策課
⑥不法投棄対策事業【再】	<p>【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道や側道を中心に5台の移動式監視カメラを設置した。(延べ24箇所に設置) ・委託、職員、不法投棄監視員によるパトロールを実施した。 委託によるパトロール 230日(早朝29日、夜間46日、日中155日) 職員によるパトロール 247日(早朝17日、夜間7日、日中223日) 不法投棄監視員によるパトロール(随時) ・テレビ等不法投棄防止夜間パトロール事業を委託により実施した。(H23/6/30～H24/2/29)(秋田県緊急雇用創出臨時対策基金の活用) ・全国ごみ不法投棄監視ウィークでの、のぼり旗やポスターの掲示や合同パトロールを実施した。 国土交通省秋田河川国道事務所との合同パトロールの実施(6/1) 大仙市との合同パトロールの実施(5/30) 不法投棄監視員との合同パトロールの実施(5/30～6/5) 国、県の関係機関との不法投棄未然防止対策連絡会の開催(6/3) ・不法投棄ゼロモデル地区事業を2地区拡大し実施した。 実施地区(下浜名ヶ沢、雄和女米木、河辺戸島、雄和平尾鳥、下新城岩城、金足片田) ・広報あきたを活用した啓発を行った。(4/1号から3/16号まで12回掲載) 	廃棄物対策課

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
⑦一般廃棄物の適正処理	<p>収集実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみ 68,549t ・金属類 655t ・ペットボトル 920t ・空きかん 1,268t ・空きびん 2,431t <p>(総合環境センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼却量 18,923t ・熔融量 115,024t ・埋立量 3,390t ・破碎処理量 2,846t ・合計 140,183t <p>(向浜事業所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理実績 48,037 kℓ 	環境都市推進課
⑧農畜産廃棄物適正処理推進業務	<p>家畜排せつ物に関しては、秋田県および関係機関と連携し、秋田市内3地域(北部・河辺・雄和)を対象とした巡回を行い、適正な処理と有効活用の啓発活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査日 平成23年6月8日 ・対象畜産農家 7戸 	農業農村振興課

第2節 エネルギー・水資源

(1) 省エネルギーの推進と利用効率の向上

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①環境配慮指針の普及・啓発	「秋田市環境配慮指針(日常生活編、事業活動編)」について、ホームページへの掲載等により、その周知を図った。	環境総務課
②エコオフィスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・エコあきた行動計画に基づき、年間を通して実施した。 ・四半期毎に取り組み実績を報告させ、前年度同期との比較表を作成し、意識付けを行った。 <p>※別添資料→P43、44</p>	環境総務課

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
③定期フェリー便需要拡大推進【再】	<p>【再掲】 秋田県環日本海交流推進協議会「フェリー利用促進部会」へ部会員として参加</p> <p>(部会活動内容)</p> <p>部会の開催 ・平成23年4月21日(秋田県議会棟第2会議室) 委員12名出席</p> <p>利用促進事業 ・フェリーPR活動 秋田航路PR広告の掲載 秋田航路PRイベントの開催 秋田港海の祭典参加 ・利用者に対する情報・サービス提供 秋田航路PR用ランチョンマットの作成 図書寄贈事業 ・需要の掘り起こし 北海道「秋田情報プラザ」との意見交換 鶏糞輸送実験</p> <p>宣伝活動事業 ・利用促進事業と一体的に各種媒体を使ってフェリー秋田航路の宣伝を実施 報道機関への投げ込み 協議会ホームページへの掲載 フェリー秋田航路のPRリーフレットの配布 フェリー秋田航路のPRリーフレットの備え付け(県立図書館)</p>	港湾貿易振興課
④グリーン購入・グリーン調達の推進【再】	<p>【再掲】 (環境総務課) ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 (契約課) 用品調達基金により購入している事務用品については、できるだけグリーン購入法適合品を導入した。</p> <p>※別添資料→P43</p>	環境総務課

(2) 新エネルギー利用の促進

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①新エネルギー普及・啓発事業	<p>市内の住宅に太陽光発電システムを設置する、もしくは市内に太陽光発電システム付き住宅を購入する市民に補助金を交付し、新エネルギーの普及を図った。</p> <p>・補助件数 171件 ・総最大出力 709.66kw ・補助総額 18,249千円</p>	環境総務課

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
②廃棄物発電の実施【再】	【再掲】 ・1、2号溶融炉による発電量 47,826,210kWh ・3号焼却炉による発電量 2,576,190kWh ・平成23年度 売電収入 199,096,546円	総合環境センター
③公共施設整備にあたっての新エネルギーの導入	秋田市グリーンニューディール基金(平成22年3月設置/87,800千円)を活用し、市有施設への再生可能エネルギーの導入を推進した。 ・大森山動物園:太陽光発電システム(10kw) ・秋田公立美術工芸短期大学:地中熱ヒートポンプシステム	環境総務課
④市民サービスセンター整備事業	記載なし	市民協働・地域分権推進課

(3) 水資源の保全と有効利用

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①秋田市水道事業基本計画に基づく取組	配水管整備事業 ・布設替延長 19,188.0m ・布設延長 7,547.5m ・事業費 1,443,805千円 漏水調査業務委託 ・調査延長 613.7km ・調査戸数 64,211戸 ・事業費 15,886千円 平成23年度有効率 91.4%	上下水道局総務課
②地下水の水質監視	・地下水質測定計画を定め、市内全域を1kmメッシュで区切り、水質調査を実施。30井戸において調査を行った。(内訳 概況調査20、継続監視5、土崎5) ・継続監視井戸5井戸において、硝酸性窒素および亜硝酸性窒素が2井戸、トリクロロエチレンが1井戸、テトラクロロエチレンが2井戸で環境基準を達成できなかった。 ・その他は、環境基準を達成していた。	環境保全課
③雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会との連携	国、県および流域8市町村で構成する雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会では、雄物川の環境美化や環境保全を図るため、流域一斉のクリーンアップの実施や油流出事故等に関する情報を共有するため、連絡体制の整備・強化を図っている。 ・雄物川流域一斉清掃の実施 日時 5月29日(日) 場所 雄物川右岸 参加人数 395名 回収量 2t ・雄物川水系水質事故緊急措置演習の実施(油類流出事故を想定) 日時 10月4日(火) 場所 秋田市河辺 戸島大橋付近	環境保全課
④造林事業等森林の整備	「市有林経営」として施業計画に基づき、除伐16.20ha、枝打16.20ha、間伐175.64haの保育事業を実施し、森林資源の質的向上を図った。	農地森林整備課

第4章 世代や地域を越えてともに語らい、環(わ)となって取り組みます

第1節 環境保全活動

(1) 市民の環境保全活動の促進

取組名	23年度の実績	担当課所室
①家庭系廃棄物減量・再資源化事業【再】	【再掲】 ・実施団体 574団体 ・回収量 3,873t ・奨励金交付 11,582千円(団体9,889千円、業者1,693千円)	環境都市推進課
②自然環境保全市民活動計画の推進	自然環境保全条例に基づき、市民活動計画として認定した団体の活動支援および活動のPRを行った。 【市民活動計画認定団体(3団体)】 ・大学病院前の水辺環境を守る会(愛称:ホータル会) 会員数:約80名 活動内容:水路の清掃、草刈り、生物の勉強会など ・日本野鳥の会秋田県支部 会員数:約250名 活動内容:野鳥観察 ・秋田森の会・風のハーモニー 会員数:約300名 活動内容:炭焼き体験、植樹、森林体験など	環境総務課
③地域環境活動促進事業	平成22年度末で事業を廃止した。	環境都市推進課
④活動団体への講師の派遣	・各種環境学習会の開催に際し、職員を講師として派遣した。(46回) 環境学習サポート事業 ・井戸端会議(出前講座)を開催し、職員を講師として派遣した。(60回)	環境都市推進課
⑤消費者教育・啓発事業	ごみの分別・ごみ減量をテーマに消費者講座をアルヴェで開催。(参加者64名)	市民相談センター
⑥空閑地美化事業	・空閑地の除草の勧告を行い、良好な生活環境の確保に努めた。 ・空閑地除草強化旬間を設け、空閑地の良好な生活環境の確保の推進を図った。(7月21日～7月31日) 除草勧告件数:29件	公園課
⑦環境ネットワーク事業	平成23年度に市が開催する環境学習関連事業の情報を、こどもエコクラブ加入団体へ提供し、イベントへの参加などを促した。	環境総務課
⑧(仮称)環境活動サロンの整備	特記事項なし	環境総務課
⑨市民環境活動推進員(あきたエコふれんど)養成講座	特記事項なし	環境総務課

(2) 事業者の環境保全活動の促進

取組名	23年度の実績	担当課所室
①公害防止管理者等設置指導	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律に基づく届出 ・公害防止統括者等の届出 公害防止組織に関する届出:18件 承継届出:0件	環境保全課
②製造業環境担当者との情報交換	・日時 平成23年11月29日(火) 出席者 35事業所 44名 ・場所 秋田市環境部総合環境センター 2F 大会議室 ・案件 公害関係について 大気汚染防止法および水質汚濁防止法の改正について 土壌汚染対策法の改正について 質疑応答 地球温暖化対策実行計画について 環境総務課地球温暖化担当	環境保全課
③事業系廃棄物減量・再資源化事業【再】	【再掲】 指導事業所 116事業所	環境都市推進課

(3) 市、事業者、市民の連携の推進

取組名	23年度の実績	担当課所室
①秋田市環境活動推進協議会との連携	協議会が実施する研修会や各種活動へ参加するとともに、その支援に努めた。	環境総務課
②市民協働によるエコマップの作成	特記事項なし	環境総務課
③環境ネットワーク事業【再】	【再掲】 平成23年度に市が開催する環境学習関連事業の情報を、こどもエコクラブ加入団体へ提供し、イベントへの参加などを促した。	環境総務課
④(仮称)環境活動サロンの整備【再】	【再掲】 特記事項なし	環境総務課

第2節 環境配慮対策

(1) 環境情報の整備と共有化

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①「広報あきた」の発行	以下の号に特集(1ページ以上)として関連記事を掲載したほか、必要に応じて「不法投棄防止」「全市一斉清掃」「環境イベント告知」などを通常記事として掲載した。 ・特集記事 平成23年7月15日号「不法投棄をなくそう」 平成23年9月16日号「減らそう。家庭系ごみ」 平成23年11月18日号「家庭系ごみの有料化を来年7月から実施します ほか」 平成23年12月16日号「来年7月から家庭ごみ有料化」 平成24年1月20日号「生ごみ減量実践中！」 平成24年2月17日号「家庭ごみ7月からは黄色のごみ袋を使ってね！」 平成24年3月16日号「紙は再生できる資源です」	広報広聴課
②市政番組の放送	市内各地で開催したごみ減量キャンペーンの取り組みやごみ有料化に向けた説明会などについて広報番組で広く市民に啓発した。 ・広報テレビ番組 5分番組(民放3局) 平成23年5月上旬放送 「平成23年度新年度事業紹介② 環境立市あきた」 平成23年7月上旬放送 「秋田市ほっと情報 ごみ減量キャンペーン」 平成23年9月下旬放送 「生ごみ減量のすすめ」 平成23年12月下旬放送 「ごみが有料になります」 15分番組 おはよう秋田市長です(ABS秋田放送) 平成24年2月26日放送 「あきたスマートシティ・プロジェクトについて」 ・広報ラジオ番組(民放2局) 平成23年6月6・7日放送 「生ごみ減量について」 平成23年6月20・21日放送 「ごみ減量の取り組み」 平成23年12月19・20日放送 「家庭系ごみの有料化説明会にお越しく下さい」 平成24年1月23・24日放送 「家庭系ごみの有料化説明会にお越しく下さい」 平成24年3月19・20日放送 「家庭系ごみ有料化について」	広報広聴課
③環境情報の整備・提供	・環境部ホームページの掲載情報の充実に努めた。(環境部各課所室) ・「秋田市地球温暖化対策実行計画概要版」パンフレットを市民・事業者へ配布した。(環境総務課) ・「秋田市環境基本計画年次報告書」を作成し、ホームページで公表した。(環境総務課) ・地球温暖化対策情報提供誌「eー市民だより」を発行(6回)した。(環境総務課) ・小学生環境学習副読本「私たちのくらしとかんきょう」を作成し、市内51小学校に配布した。(環境総務課) 副読本3,200部 指導のてびき150部 ・環境保全課ホームページの更新(「秋田市の環境」平成23年度版(平成22年度結果報告書)、平成23年度有害化学物質の調査結果等)などの環境情報の提供に努めた。(環境保全課) ・広報・テレビ・ラジオ・新聞・ホームページ等に情報を提供した。(環境都市推進課)	環境総務課
④地域防災計画策定事業【再】	【再掲】 地域防災計画の本編、資料編および防災カルテを市ホームページ等で公開し、周知に努めた。	防災安全対策課
⑤環境ネットワーク事業【再】	【再掲】 平成23年度に市が開催する環境学習関連事業の情報を、こどもエコクラブ加入団体へ提供し、イベントへの参加などを促した。	環境総務課

(2) 環境配慮に係るしくみの整備

取組名	23年度の実績	担当課所室
①大規模小売店舗立地法に基づく周辺環境配慮	大規模小売店舗立地法に基づく届出に対し、当該店舗の周辺の地域の生活環境の保持の観点から、意見の有無を通知した。 ・法第5条第1項 2件 新設の届出…2件とも「意見なし」 ・法第6条第2項 1件 駐輪場の位置及び収容台数と駐車場の自動車の出入口の数及び位置の変更…「意見なし」	商工労働課
②秋田市宅地開発技術指針による環境配慮指針	開発行為の協議時において、開発工事中の環境保全対策を指導した。 平成23年度開発許可実績: 7件	都市計画課

(3) 環境に配慮したまちづくりの実践

取組名	23年度の実績	担当課所室
①各種建設・改築事業	勝平地区コミュニティセンター改築および勝平児童センター(仮称)新築工事の実施設計において、冷暖房効率を上げるための複層ガラスサッシやガスヒートポンプの導入、消費電力の少ないLED照明や高効率型の照明器具の採用などを行った上で、建設工事に着手(H23、H24継続費設定)した。	生活総務課
②各種建設・改築事業【再】	【再掲】 道路工事において、環境負荷の低減を図った。 ・バックホー等の施工機械について、排出ガス対策型とした。 ・コンクリート製品について、秋田県認定リサイクル製品(溶融スラグ入り)を活用した。	駅東工事事務所
③各種建設・改築事業【再】	【再掲】 配水管整備事業や施設改良事業等を行った。 ・舗装材(アスファルト)は再生材を使用し、取り壊した舗装(アスファルト・コンクリート)は再生処理するなど環境に配慮したまちづくりを実践した。主要な建設機械には、排ガス対策型や低騒音型を使用し、生活環境に配慮しながら工事を行った。	水道建設課
④各種活性化事業	まちあかり・ふれあい推進事業 ・自治活動助成金 28,818千円 ・灯具交換・補修費助成金 21,534千円 ・防犯灯電気料助成金 69,539千円	生活総務課

第5章 一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を想い、行動します

第1節 環境教育・環境学習

(1) 環境情報の収集と提供

取組名	23年度の実績	担当課所室
①「広報あきた」の発行【再】	<p>【再掲】</p> <p>以下の号に特集(1ページ以上)として関連記事を掲載したほか、必要に応じて「不法投棄防止」「全市一斉清掃」「環境イベント告知」などを通常記事として掲載した。</p> <p>・特集記事</p> <p>平成23年7月15日号「不法投棄をなくそう」</p> <p>平成23年9月16日号「減らそう。家庭系ごみ」</p> <p>平成23年11月18日号「家庭系ごみの有料化を来年7月から実施します ほか」</p> <p>平成23年12月16日号「来年7月から家庭ごみ有料化」</p> <p>平成24年1月20日号「生ごみ減量実践中！」</p> <p>平成24年2月17日号「家庭ごみ7月からは黄色のごみ袋を使ってね！」</p> <p>平成24年3月16日号「紙は再生できる資源です」</p>	広報広聴課
②市政番組の放送【再】	<p>【再掲】</p> <p>市内各地で開催したごみ減量キャンペーンの取り組みやごみ有料化に向けた説明会などについて広報番組で広く市民に啓発した。</p> <p>・広報テレビ番組</p> <p>5分番組(民放3局)</p> <p>平成23年5月上旬放送 「平成23年度新年度事業紹介② 環境立市あきた」</p> <p>平成23年7月上旬放送 「秋田市ほっと情報 ごみ減量キャンペーン」</p> <p>平成23年9月下旬放送 「生ごみ減量のすすめ」</p> <p>平成23年12月下旬放送 「ごみが有料になります」</p> <p>15分番組 おはよう秋田市長です(ABS秋田放送)</p> <p>平成24年2月26日放送 「あきたスマートシティ・プロジェクトについて」</p> <p>・広報ラジオ番組(民放2局)</p> <p>平成23年6月6・7日放送 「生ごみ減量について」</p> <p>平成23年6月20・21日放送 「ごみ減量の取り組み」</p> <p>平成23年12月19・20日放送 「家庭系ごみの有料化説明会にお越しくささい」</p> <p>平成24年1月23・24日放送 「家庭系ごみの有料化説明会にお越しくささい」</p> <p>平成24年3月19・20日放送 「家庭系ごみ有料化について」</p>	広報広聴課

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
③環境教育の実施	<p>総合的な学習の時間に自然体験を行っている学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校30校(66.7%) ・中学校10校(41.7%) <p>環境教育をねらいとした活動の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎以外のクリーンアップ <ul style="list-style-type: none"> 小学校45校中33校(73.3%) 中学校24校中20校(83.3%) ・学校農園、学校林活動等の緑化活動 <ul style="list-style-type: none"> 小学校45校中33校(73.3%) 中学校24校中4校(16.7%) ・川の水質汚濁、酸性雨等の調査活動 <ul style="list-style-type: none"> 小学校45校中10校(22.2%) 中学校24校中3校(12.5%) ・古紙、空きびん、空き缶回収等のリサイクル活動 <ul style="list-style-type: none"> 小学校45校中39校(86.7%) 中学校24校中22校(91.7%) ・ごみの減量化 <ul style="list-style-type: none"> 小学校45校中22校(48.9%) 中学校24校中8校(33.3%) 	学校教育課
④環境情報の整備・提供 【再】	<p>【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境部ホームページの掲載情報の充実に努めた。(環境部各課所室) ・「秋田市地球温暖化対策実行計画概要版」パンフレットを市民・事業者へ配布した。(環境総務課) ・「秋田市環境基本計画年次報告書」を作成し、ホームページで公表した。(環境総務課) ・地球温暖化対策情報提供誌「eー市民だより」を発行(6回)した。(環境総務課) ・小学生環境学習副読本「私たちのくらしとかんきょう」を作成し、市内51小学校に配布した。副読本3,200部 指導のてびき150部(環境総務課) ・環境保全課ホームページの更新(「秋田市の環境」平成23年度版(平成22年度結果報告書)、平成23年度有害化学物質の調査結果等)などの環境情報の提供に努めた。(環境保全課) ・広報・テレビ・ラジオ・新聞・ホームページ等に情報を提供した。(環境都市推進課) 	環境総務課

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
⑤環境教育・学習事業	<p>環境展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 6月の環境月間行事の一環として、環境に関する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことを目的に上下水道局で実施する「水道ふれあいフェア」と合同で「環境展」を開催した。 ・日時 平成23年6月4日(土) 10:00~15:00 ・会場 JR秋田駅前大屋根下・アゴラ広場 ・内容 エコ度判定YES・NOコーナー(あなたのエコ度はどのくらい?!) 環境工作コーナー(小枝のストラップ、とじこめーる) e-市民への勧誘・ごみ減量パネルの展示・電気自動車の展示 <p>親子環境教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 秋田市では学校教育や社会教育等の多様な場において、環境教育を実施している。環境部においても平成7年度から平成10年度まで、小学生を対象に「夏休みこども環境教室」を開催してきた。平成11年度からは、親子で海水の調査やリサイクルなどを体験することにより、環境に対する意識を高めてもらうことを目的として「夏休み親子環境教室」を開催してきた。平成23年度は、年4回開催した。 ・ホタル観察会 日時 6月25日(土)19:30~21:00(対象:市内小学生とその保護者) 内容 ホタル講座、観察 ・ホタル観察会 日時 7月2日(土)19:30~21:00(対象:年齢制限なし) 内容 ホタル講座、観察 ・みなとの水質調査(秋田海上保安部の協力による港の学習) 日時 7月27日(水)9:00~12:00 内容 ビデオによる学習 巡視艇に乗船し、港の様子と海から秋田市を観察 水質調査のための採水(港内、外海) 透明度の測定(港内、外海) ・エコ科学実験教室(秋田大学の協力による、身近なものを使った科学実験) 日時 8月22日(月)9:00~11:00 内容 電池をつくってみよう ごみの減容と有効活用(発砲スチロールを使ったスタンプ作り) マローブルーでpHをはかろう けいそう土の吸水性をしらべよう 低温の世界をのぞいてみよう 	環境総務課
⑥環境ネットワーク事業【再】	【再掲】 平成23年度に市が開催する環境学習関連事業の情報を、こどもエコクラブ加入団体へ提供し、イベントへの参加などを促した。	環境総務課
⑦(仮称)環境活動サロンの整備【再】	【再掲】 特記事項なし	環境総務課

(2) 環境学習プログラムの整備と機会の充実

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
①子ども体験活動推進事業	市内4公民館や4市民サービスセンターにおいて、各ブロック子ども会交流会やカヌー教室など、野外活動や宿泊体験、ものづくりなどの体験活動を実施した。(事業数25、参加延べ人数1,351人)	生涯学習室
②太平山自然学習センター運営事業【再】	【再掲】 小中学生の宿泊研修や自然体験活動等の主催事業を実施した。 ※別添資料→P43	太平山自然学習センター
③体験学習やふれあい教室の実施	・動物の飼育や園内管理作業を体験する「お仕事体験」や「インターンシップ」などの体験学習には、合計で75件、788人の参加があった。 ・また、来園者を対象に小動物とのふれあいを行う「なかよしタイム」には、開催243日で37,539人の参加があり、幼稚園や小学校などの申し込みによる「ふれあい教室」には 87件、4,148人の参加があった。	大森山動物園
④命のつなぎ(種の保存)事業【再】	【再掲】 ・動物園内の沼、塩曳潟(しおひきがた)に生息する絶滅危惧種ゼニタナゴについて、秋田淡水魚研究会の協力により、沼の生息状況調査などを計3回実施したほか、ゼニタナゴの保全のために作製した池の中で、約300尾の稚魚を孵化させ、元の沼に放流した。 ・また、同じ保全池の中でゼニタナゴが卵を産む貝の繁殖にも成功し、約250個の稚貝を確認した。さらに、天敵のアメリカザリガニの駆除のために、地元企業の家族や地域の小学生の協力のもと、ゼニタナゴ保全イベントとしてザリガニ釣り大会を実施するなど、年間を通じて約1000尾を駆除した。	大森山動物園
⑤環境教育展示	・園内で実施している絶滅危惧種ゼニタナゴの保全活動の一環として、資料館の中で水槽展示しているゼニタナゴ約20尾を、本年産の稚魚に入れ替え、保全活動への理解を求めた。なお、これまで水槽展示した魚は、繁殖用として保護池へ移動した。 ・また、比較展示の意味もこめて絶滅危惧種のシナイモツゴとアカヒレタビラについても、継続して飼育展示中である。	大森山動物園
⑥農業体験学習推進対策事業	平成23年度農業体験学習推進対策事業概要 ※別添資料→P45	農林総務課

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
<p>⑦環境教育・学習事業 【再】</p>	<p>【再掲】 環境展 ・目的 6月の環境月間行事の一環として、環境に関する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことを目的に上下水道局で実施する「水道ふれあいフェア」と合同で「環境展」を開催した。 ・日時 平成23年6月4日(土) 10:00～15:00 ・会場 JR秋田駅前大屋根下・アゴラ広場 ・内容 エコ度判定YES・NOコーナー(あなたのエコ度はどのくらい?!) 環境工作コーナー(小枝のストラップ、とじこめーる) e-市民への勧誘・ごみ減量パネルの展示・電気自動車の展示 親子環境教室 ・目的 秋田市では学校教育や社会教育等の多様な場において、環境教育を実施している。 環境部においても平成7年度から平成10年度まで、小学生を対象に「夏休みこども環境教室」を開催してきた。平成11年度からは、親子で海水の調査やリサイクルなどを体験することにより、環境に対する意識を高めてもらうことを目的として「夏休み親子環境教室」を開催してきた。平成23年度は、年4回開催した。 ・ホテル観察会 日時 6月25日(土)19:30～21:00(対象:市内小学生とその保護者) 内容 ホテル講座、観察 ・ホテル観察会 日時 7月2日(土)19:30～21:00(対象:年齢制限なし) 内容 ホテル講座、観察 ・みなとの水質調査(秋田海上保安部の協力による港の学習) 日時 7月27日(水)9:00～12:00 内容 ビデオによる学習 巡視艇に乗船し、港の様子と海から秋田市を観察 水質調査のための採水(港内、外海) 透明度の測定(港内、外海) ・エコ科学実験教室(秋田大学の協力による、身近なものを使った科学実験) 日時 8月22日(月)9:00～11:00 内容 電池をつくってみよう ごみの減容と有効活用(発砲スチロールを使ったスタンプ作り) マローブルーでpHをはかろう けいそう土の吸水性をしらべよう 低温の世界をのぞいてみよう</p>	<p>環境総務課</p>
<p>⑧市職員の環境教育</p>	<p>・文書取扱主任会議等を通じ、紙類の分別・リサイクルおよび使用量の節減について職員に徹底した。 ・エコ通勤ウイーク(毎月第4金曜日のある週)を設定し、全職員に、自転車や徒歩、公共交通機関での通勤を呼びかけた。</p>	<p>環境総務課</p>
<p>⑨環境教育・学習サポート事業</p>	<p>環境学習サポート事業を実施し、学校や市民団体の要望に応じ、環境教育・学習の場への講師の派遣や資料の提供を行った。 ・各種環境学習会 46回開催 1,717人参加</p>	<p>環境総務課</p>
<p>⑩(仮称)環境活動サロンの整備【再】</p>	<p>【再掲】 特記事項なし</p>	<p>環境総務課</p>

(3) 人材の育成と連携の促進

取組名	23年度の実績	担当課所室
①子ども体験活動推進事業【再】	【再掲】 市内4公民館や4市民サービスセンターにおいて、各ブロック子ども会交流会やカーン教室など、野外活動や宿泊体験、ものづくりなどの体験活動を実施した。(事業数25、参加延べ人数1,351人)	生涯学習室
②こどもエコクラブ事業	・こどもが誰でも参加できる環境活動のクラブ。環境学習・環境保全などの活動を行っている。 こどもエコクラブ事業・・・環境省が平成7年度より企画・推進している。 ・本市の状況 こどもエコクラブ登録者 26クラブ(メンバー2,167人、サポーター165人) 壁新聞応募 1クラブ	環境総務課
③あきた環境楽会	特記事項なし	環境総務課
④環境ネットワーク事業【再】	【再掲】 平成23年度に市が開催する環境学習関連事業の情報を、こどもエコクラブ加入団体へ提供し、イベントへの参加などを促した。	環境総務課
⑤(仮称)環境活動サロンの整備【再】	【再掲】 特記事項なし	環境総務課

第2節 地球環境問題

(1) 地球温暖化の防止

取組名	23年度の実績	担当課所室
①温暖化対策実行計画の推進・見直し	・エコあきた行動計画に基づき、市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の削減に努めた。 平成23年度の排出量 126,984t-CO2(平成17年度比6%減) ・秋田市地球温暖化対策実行計画に基づき、本市事務事業および市民、市内事業者等に対し、地球温暖化対策を総合的に推進した。	環境総務課
②市民版ISOの推進	・各種啓発イベントでe-市民認定システムへの参加を呼びかけた。 ・情報紙「e-市民だより」を隔月発行し、市民への配布および公共施設への設置等により、ごみ減量、省エネ等に関する取組の啓発を行った。 平成23年度 e-市民認定システム中・上級コース新規登録者数 4人	環境総務課
③低公害車導入・普及【再】	【再掲】 市民・事業者等に率先して、公用車への低公害車導入を推進した。 ※別添資料→P42	環境総務課

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
④エコドライブの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年10月28日(金)に「ノーマイカーデー」と「早起き時差運動」の社会実験を実施した。 ノーマイカーデー参加登録者 298人 早起き時差出勤参加登録者 301人 ・広報あきたで、冬期間のマイカー使用の自粛を呼びかけた。(10月21日号) ・エコドライブアドバイザー講習会の開催:5月28日 17名参加 ・エコドライブ講習会の開催:10月1日 29名参加 ・エコ通勤ウィーク(毎月第4金曜日のある週)を設定し、全職員に、自転車や徒歩、公共交通機関での通勤を呼びかけた。 	環境総務課
⑤グリーン購入・グリーン調達の推進【再】	<p>【再掲】 (環境総務課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 <p>(契約課)</p> <p>用品調達基金により購入している事務用品については、できるだけグリーン購入法適合品を導入した。</p> <p>※別添資料→P43</p>	環境総務課
⑥造林事業等森林の整備【再】	<p>【再掲】</p> <p>「市有林経営」として施業計画に基づき、除伐16.20ha、枝打16.20ha、間伐175.64haの保育事業を実施し、森林資源の質的向上を図った。</p>	農地森林整備課

(2) 地球環境保全対策

取組名	23年度の実績	担当課所室
<p>①環境教育・学習事業 【再】</p>	<p>【再掲】 環境展 ・目的 6月の環境月間行事の一環として、環境に関する市民の関心を高め、環境配慮行動を促すことを目的に上下水道局で実施する「水道ふれあいフェア」と合同で「環境展」を開催した。 ・日時 平成23年6月4日(土) 10:00~15:00 ・会場 JR秋田駅前大屋根下・アゴラ広場 ・内容 エコ度判定YES・NOコーナー(あなたのエコ度はどのくらい?!) 環境工作コーナー(小枝のストラップ、とじこめーる) e-市民への勧誘・ごみ減量パネルの展示・電気自動車の展示</p> <p>親子環境教室 ・目的 秋田市では学校教育や社会教育等の多様な場において、環境教育を実施している。 環境部においても平成7年度から平成10年度まで、小学生を対象に「夏休みこども環境教室」を開催してきた。平成11年度からは、親子で海水の調査やリサイクルなどを体験することにより、環境に対する意識を高めてもらうことを目的として「夏休み親子環境教室」を開催してきた。平成23年度は、年4回開催した。</p> <p>・ホタル観察会 日時 6月25日(土)19:30~21:00(対象:市内小学生とその保護者) 内容 ホタル講座、観察</p> <p>・ホタル観察会 日時 7月2日(土)19:30~21:00(対象:年齢制限なし) 内容 ホタル講座、観察</p> <p>・みなとの水質調査(秋田海上保安部の協力による港の学習) 日時 7月27日(水)9:00~12:00 内容 ビデオによる学習 巡視艇に乗船し、港の様子と海から秋田市を観察 水質調査のための採水(港内、外海) 透明度の測定(港内、外海)</p> <p>・エコ科学実験教室(秋田大学の協力による、身近なものを使った科学実験) 日時 8月22日(月)9:00~11:00 内容 電池をつくってみよう ごみの減容と有効活用(発砲スチロールを使ったスタンプ作り) マローブルーでpHをはかろう けいそう土の吸水性をしらべよう 低温の世界をのぞいてみよう</p>	<p>環境総務課</p>
<p>②酸性雨のモニタリング</p>	<p>酸性雨や酸性雪の実態を把握するため、降雨については市庁舎分館屋上、降雪については市営八橋球場において調査を実施した。その結果、水素イオン濃度は加重平均値で降雨が4.6、降雪が4.4となっており、秋田市の降雨・降雪は、測定以来、酸性で推移している。</p>	<p>環境保全課</p>

取組名	23年度の取組実績	担当課所室
③グリーン購入・グリーン調達の推進【再】	<p>【再掲】 (環境総務課) ・年間を通して、エコあきた行動計画に基づき、グリーン購入・グリーン調達を推進した。 ・四半期に一度、実績について報告を受けている。 (契約課) 用品調達基金により購入している事務用品については、できるだけグリーン購入法適合品を導入した。</p> <p>※別添資料→P43</p>	環境総務課
④海外交流都市との情報交換	各都市のホームページ等により、情報収集に努めた。	企画調整課

別添資料「低公害車導入・普及」関係(P8、P38)

平成23年度 秋田市役所の低公害車等保有・購入台数状況

	貨物自動車		乗合・乗用		軽自動車		特種自動車等		合計	
	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数	保有台数	購入台数
低公害車以外	58	1	62	0	54	1	247	2	421	4
低公害車	燃料電池	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電気	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	天然ガス	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メタノール	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	13	0	0	0	1	0	14
	H17☆☆☆☆&低燃費	5	0	37	5	18	4	21	4	81
	H17☆☆☆&低燃費	2	0	10	0	31	1	1	0	44
	H12☆☆☆&低燃費	0	0	7	0	1	0	1	0	9
	H12☆☆&低燃費	2	0	6	0	7	0	4	0	19
	H12☆☆&低燃費	5	0	9	0	10	0	0	0	24
	水素	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラグインハイブリッド自動車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	72	1	144	5	122	6	275	6	613	18

※公社保有車を含む。

- H17☆☆☆☆&低燃費：平成17年基準排出ガス75%低減レベルに適合
- H17☆☆☆&低燃費：平成17年基準排出ガス50%低減レベルに適合
- H12☆☆☆&低燃費：平成12年基準排出ガス75%低減レベルに適合
- H12☆☆&低燃費：平成12年基準排出ガス50%低減レベルに適合
- H12☆☆&低燃費：平成12年基準排出ガス25%低減レベルに適合

別添資料「太平山自然学習センター運営事業」関係(P13、P36)

	事業名	主な内容	期日等	対象等	人数
学校教育利用	○宿泊利用	○野外活動(テント設営、野外炊飯、オリエンテーリング、キャンプファイヤー、登山)	5/10	78校	6,156人
	○日帰り利用	○自然観察(動植物の観察、天体観測) ○創作活動(クラフトづくり)	～2/17	2校	135人
	計			80校	6,291人
一般利用	宿泊利用	○野外活動(テント設営、野外炊飯、オリエンテーリング、キャンプファイヤー、登山)	4/9	35団体	1,110人
	日帰り利用	○自然観察(動植物の観察、天体観測) ○創作活動(クラフトづくり)	～3/31	32団体	1,057人
	計			67団体	2,167人
主催事業	まんたらめ春のファミリーハイキング	リゾート公園内ハイキング	4/29	家族	29人
	まんたらめ夏のファミリーキャンプ	テント設営体験、ダッチオープン料理	7/24	家族	31人
	学生スタッフ養成講座	オリエンテーションについて、児童生徒との関わり方、事業の企画と運営、野外調理、キャンプファイヤー、星空観察	8/1	大学生	4人
	まんたらめチャレンジキャンプ	オリエンテーリング、野外炊飯、キャンプファイヤー、館内テント泊、バーベキュー	8/17～18	小学5・6年生	12人
	まんたらめちびっこキャンプ	花公園ハイキング、妙見山登山、木の実・木の葉のクラフト、きりたんぼ作り	10/8～9	小学1・2年生	20人
	まんたらめダッチオープン料理	ダッチオープン料理	10/23	一般	15人
	まんたらめ秋のファミリーキャンプ	紅葉ハイキング、木工クラフト、星空観察、ピザ作り	10/29～30	家族	19人
	まんたらめウィンターキャンプ	うどん打ち、館内テント泊、スノーキャンドル作り、スノーシュー体験	1/7～8	小学3・4年生	30人
	まんたらめスノーシューでトレッキング	スノーシューでトレッキング、森のクラフト作り	2/11	一般	19人
	計				179人
	その他	学校利用説明会、ボランティア等			223人

別添資料「グリーン購入・グリーン調達推進」関係(P24、P27、P39、P41)
「エコオフィスの推進」関係(P26)

平成23年度秋田市役所環境物品等調達(グリーン購入)実績

特定調達品目 分類(品目)	調達目標	年間累計			目標 達成の 可否	
		購入総数	非グリーン 購入数	調達率 (%)		
紙類合計	99%	64,403,368	4,238,211	93.4%	×	
文具類 合計	95%	533,836	71,162	86.7%	×	
オフィス家具類	95%	843	37	95.6%	○	
OA機器	電卓・電池・トナーなど	今後検討	22,502	1,352	94.0%	-
	その他	95%	48	7	85.4%	×
家電製品 合計	99%	13	0	100.0%	○	
エアコンデショナー 合計	95%	10	5	50.0%	×	
温水器 合計	今後検討	5	4	20.0%	-	
照明 合計	95%	5,543	2,051	63.0%	×	
自動車等	自動車	100%	5	2	60.0%	×
	タイヤ・エンジンオイル	今後検討	12	4	66.7%	-
消火器	50%	156	26	83.3%	○	
制服・作業服 合計	80%	2,271	206	90.9%	○	
インテリア・寝装 合計	80%	86	3	96.5%	○	
作業手袋	50%	512	0	100.0%	○	
その他繊維製品 合計	50%	135	26	80.7%	○	
防災備蓄用品 合計	今後検討	30,056	88	99.7%	-	
役務	印刷	75%	106	52	50.9%	×
	その他	今後検討	1,052	68	93.5%	-

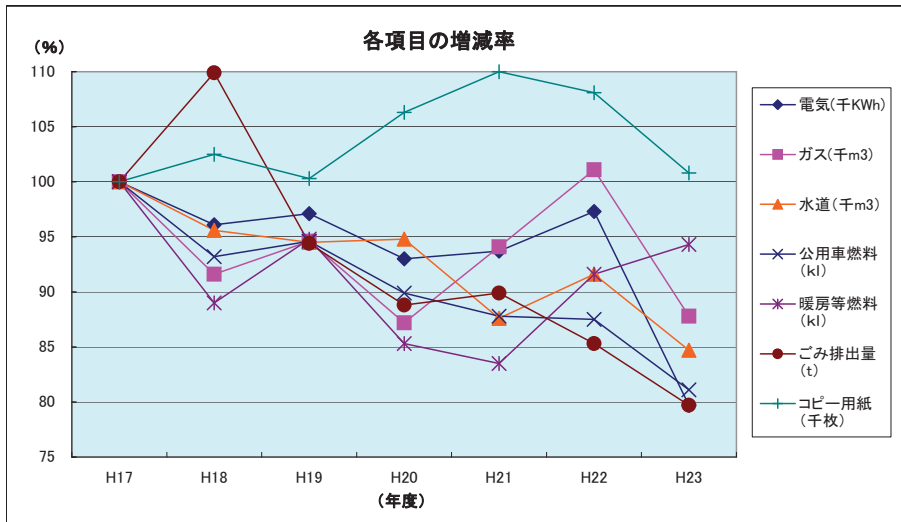
○:目標達成
×:目標未達成
-:目標設定なし

【実績の概要】

目標設定をしている項目のうち、7項目が達成されている。
未達成の中においても、紙類、文具類およびOA機器類(その他)においては、調達率80%を超えており、目標が達成されていないまでも高い調達率となっている。
安い価格の同等品の非グリーン製品や規格上やむを得ず非グリーン製品を購入しているケースが見られた。

別添資料「エコオフィスの推進」関係(P26)

平成23年度 秋田市役所エコオフィス実績



項目	単位	H17 (基準年度)	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24削減 目標数値
電気	千kwh	25,962	24,945 -4%	25,220 1% -3%	24,145 -4% -7%	24,334 1% -6%	25,270 4% -3%	20,690 -18% -20%	24,663 -5%
ガス (都市・プロパ ン)	千m3	1,567	1,435 -8%	1,483 3% -5%	1,367 -8% -13%	1,474 8% -6%	1,584 7% 1%	1,376 -13% -12%	1,488 -5%
水道	千m3	523	500 -4%	494 -1% -6%	496 1% -5%	458 -8% -12%	479 5% -8%	443 -15% -15%	496 -5%
公用車燃料 (ガソリン・軽油)	kl	296	276 -7%	280 1% -5%	266 -5% -10%	260 -2% -12%	259 -8% -12%	240 -7% -19%	281 -5%
暖房等燃料 (灯油・重油)	kl	2,050	1,825 -11%	1,943 6% -5%	1,748 -10% -15%	1,711 -2% -17%	1,877 10% -8%	1,933 3% -6%	1,947 -5%
ごみ排出量	t	1,829	2,010 10%	1,726 -14% -6%	1,625 -6% -11%	1,645 1% -10%	1,560 -5% -15%	1,458 -7% -20%	1,737 -5%
コピー用紙 使用量 (A4換算)	千枚	59,243	60,741 3%	59,434 -2% 0%	62,979 6% 6%	65,177 3% 10%	64,014 -2% 8%	59,733 -7% 1%	53,318 -10%

* 中段の%は対前年比の増減率、下段は対基準年の増減率。

【実績の概要】

昨年の東日本大震災による節電への取り組みを中心として、電力、ガスを始めとしたエネルギー使用量は減少している。暖房等燃料のみ、冬季の寒さが厳しかったことを受け、微増となっている。

また、秋田市役所が率先して取り組んでいるごみ排出量の削減については、昨年度に引き続き削減されているものである。

取組項目の中で、唯一削減に至っていないコピー用紙使用量(購入量で管理)については、一昨年度からの継続した削減行動の呼び掛けもあり、2年連続で削減されているものである。

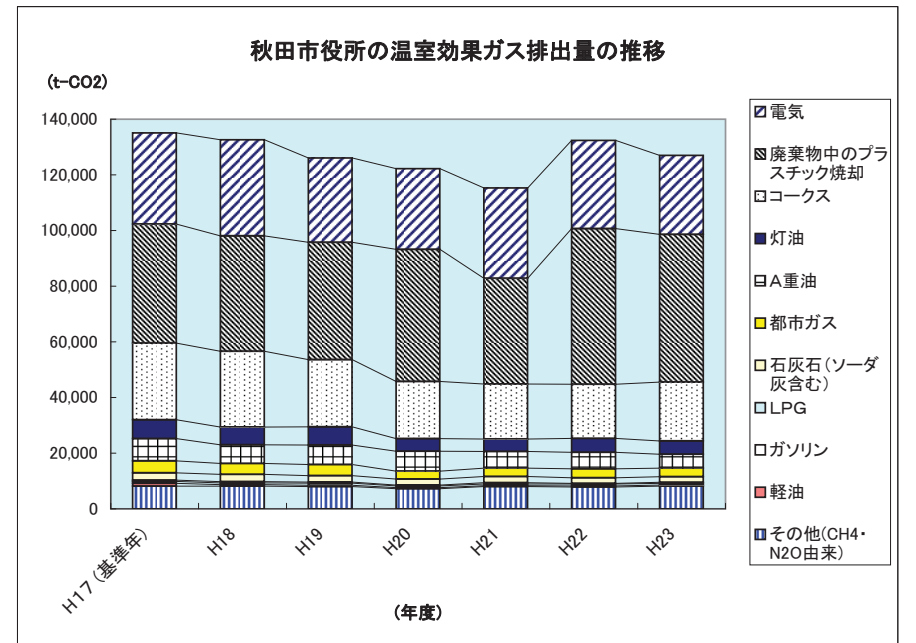
結果、平成23年度時点において、コピー用紙使用量を除き、全ての項目で目標を達成しているものである。

別添資料「エコオフィスの推進」関係(P26)

平成23年度秋田市役所事務事業の温室効果ガス排出実績

(単位:t-CO2)

活動の種類	H17 (基準年)	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24 (目標年) H17の5%減
電気	32,803	34,590	30,287	28,996	32,431	31,725	28,407	31,162
廃棄物中のプラスチック焼却	42,752	41,410	42,185	47,435	38,012	55,874	53,044	40,614
コークス	27,544	27,281	24,135	20,559	19,738	19,495	21,124	26,166
灯油	6,772	6,347	6,551	4,535	4,533	5,002	4,828	6,433
A重油	7,991	6,739	6,971	7,169	5,951	5,954	4,945	7,591
都市ガス	4,312	3,892	3,963	2,835	3,010	3,223	3,124	4,096
石灰石(ソーダ灰含む)	2,616	2,597	2,334	2,148	2,232	1,989	1,942	2,485
LPG	412	474	426	290	430	240	393	391
ガソリン	723	655	718	648	629	655	643	686
軽油	999	526	460	389	363	366	381	949
その他(CH4・N2O由来)	8,151	8,128	8,022	7,201	7,962	7,879	8,153	7,743
合計	135,075	132,639	126,052	122,205	115,291	132,402	126,984	128,316



別添資料「農業体験学習推進対策事業」関係(P36)

各学校事業実施概要

築山小学校	526名	4月中旬	オリエンテーション
		4月～6月	花卉、野菜の植え付け
		5月下旬	田植え
		6月～8月	除草、追肥
			稲の生育観察、野菜収穫
		9月下旬	稲刈り
		12月～3月	収穫祭(米粉パン作り等)
勝平小学校	289名	5月下旬～6月上旬	田植え(稲作)、植え付け(畑作)
		6月～7月中旬	水田観察・除草(稲作)、観察・除草(畑作)
		7月～9月初旬	収穫(畑作)
		9月中旬	稲刈り(稲作)、調理実習(畑作)
		11月上旬	脱穀・籾摺り(稲作)
		11月中旬	米の多様な利用方法体験
		11月下旬	米を使った調理実習
桜小学校	506名	5月上旬	田植え
		5月下旬	田植え(バケツ苗)
		6月上旬～中旬	野菜苗植え、播種(枝豆)
		6月～9月	畑の手入れ、収穫
			バケツ苗の手入れ、観察、収穫
		8月下旬	大豆(枝豆)の収穫、試食
		9月下旬	稲刈り
		11月中旬	収穫、調理実習
		11月下旬	米を使った調理実習
12月上旬～中旬	縄ない実習、調理実習(豆腐づくり)		
(旧) 山谷小学校	44名	5月	オリエンテーション
		5月下旬	田植え、野菜の播種
		5月～6月	夏野菜の植え付け
		6月～8月	稲の生育観察、除草、追肥、野菜の収穫
		9月下旬	稲刈り
		11月～2月	収穫祭
けやき平幼稚園	54名	5月～10月	耕起、代かきなど田植への準備の観察
			田植え、稲刈りを体験
			収穫した米できたんぼづくり、試食
		6月～11月	野菜の苗植え、播種、水やり 収穫、芋煮会等